みんなの　あしたに　ハッピーを

Coca-Cola West

コカ・コーラウエストグループ

CSR レポート 2011

Corporate Social Responsibility Report 2011

■ **コカ·コーラウエストグループ事業エリア**
福岡県／大阪府／滋賀県／奈良県／和歌山県／
京都府／兵庫県／岡山県／鳥取県／広島県／
島根県／山口県／佐賀県／長崎県

コカ·コーラウエスト(株)

■ **販売機能**
ウエストベンディング㈱
西日本ビバレッジ㈱
コカ·コーラウエストリテールサービス㈱
㈱ネスコ
㈱カディアック
㈱ウエックス
コカ·コーラウエスト販売機器サービス㈱

■ **製造・物流機能**
コカ·コーラウエストロジスティクス㈱
コカ·コーラウエストプロダクツ㈱
京都工場 / 明石工場 / 本郷工場
鳥栖工場 / 基山工場
コカ·コーラウエスト大山プロダクツ㈱
大山工場

■ **その他の関係会社**
コカ·コーラウエストサービス㈱
㈱秋吉システムズ
中国ピアノ運送㈱
キューサイ㈱

※2011年1月1日現在

会社概要

商　　号：コカ·コーラウエスト株式会社<コカ·コーラ指定会社>
(英文：COCA-COLA WEST COMPANY, LIMITED)
事業内容：コカ·コーラ等清涼飲料水の製造・販売
設　　立：1960年(昭和35年) 12月20日
決 算 期：12月
資 本 金：15,231百万円
代 表 者：代表取締役社長　吉松　民雄
売 上 高：375,764百万円(連結) ※2010年12月期
社 員 数：8,244名(連結)、2,814名(単体)
※2011年1月1日現在
上場取引所：株式会社東京証券取引所(市場第一部)
株式会社大阪証券取引所(市場第一部)
証券会員制法人 福岡証券取引所

報告範囲

対象期間：2010年1月1日～2010年12月31日
対象会社：14社 (キューサイ㈱除く)
発　　行：2011年3月(次回発行は2012年3月予定)
参考ガイドライン：
GRI「サステナビリティ レポーティング ガイドライン 2007」
環境省「環境報告ガイドライン 2008年版」

ご意見・ご感想は、
右記まで
お聞かせください。

コカ·コーラウエスト株式会社
CSR統括部 CSR推進部

〒812-8650 福岡市東区箱崎七丁目9番66号
【TEL】092-641-8782　【FAX】092-641-9128
http://www.ccwest.co.jp/

信頼される企業を目指して

コカ･コーラウエストグループの
企業理念に基づく日々の活動を通じた
CSRの取り組みをご紹介します。

みんなの　あしたに　ハッピーを
Coca-Cola West

企業理念

飲料を通じて
価値ある「商品、サービス」を提供することで、
お客さまの
ハッピーでいきいきとしたライフスタイルと
持続可能な社会の発展に
貢献します。

※CSR(Corporate Social Responsibility)：企業の社会的責任

CONTENTS

トップメッセージ …… 3

長期経営構想 …… 5

特集

世界一の品質・生産性の実現を目指して

コカ･コーラウエストプロダクツ㈱の取り組み …… 7

次なる環境目標の達成を目指して

環境への取り組み …… 9

地域社会とともに

地域社会貢献活動 …… 11

地域環境推進活動 …… 13

自動販売機を通じた地域社会貢献活動 …… 15

スポーツを通じた地域社会貢献活動 …… 17

コカ･コーラウエストグループにおける「CSR」の6つの重点項目 …… 19

重点項目① お客さま満足 …… 21

重点項目② 社員満足 …… 25

重点項目③ 品質保証 …… 27

重点項目④ コンプライアンス …… 29

重点項目⑤ リスク管理 …… 33

重点項目⑥ 環境推進

環境マネジメント …… 35

事業活動の流れと環境負荷 …… 37

環境会計 …… 38

地球温暖化対策 …… 39

循環型社会の実現 …… 41

水資源の保全と有効活用 …… 43

第三者コメント …… 44

工場見学のご案内 …… 45

長期経営構想と企業理念

コカ·コーラウエストグループは、持続的な成長を果たすための指針として 2020 年までの「長期経営構想 2020」を策定し、その中で当社が提供できる価値や、会社の存在意義を明確にするため、新たな企業理念を定めました。また、2020 年のありたい姿としてウエストビジョンを制定し、「お客さまに愛され、株主・地域社会に愛され、社員が愛する会社」を目指しています。さらに、企業理念やウエストビジョン等を表現するものとして、企業メッセージ「みんなのあしたに ハッピーを」を設定し、あらゆるステークホルダーに「ハッピー」を提供していく活動を実施してまいります。

企業理念

飲料を通じて
価値ある「商品、サービス」を提供することで、
お客さまの
ハッピーでいきいきとしたライフスタイルと
持続可能な社会の発展に
貢献します。

みんなの　あしたに　ハッピーを

Coca-Cola West

コカ·コーラウエスト株式会社
代表取締役社長
吉松民雄

中期経営計画「革新と成長の3年」

長期経営構想に基づき、第1ステップである2011年から2013年までを「革新と成長の3年」とする中期経営計画を策定し、「コカ・コーラビジネスの拡大」、「新しい領域への挑戦」、「効率化と生産性の向上」の戦略を推進するとともに、「地域社会、環境への貢献や社員の働きがい向上」に取り組み、持続的な成長を果たしてまいります。

当社のCSR活動

コカ・コーラウエストグループは、企業市民として着実に社会的責任を果たし続ける企業を目指しています。
私たちは、持続可能な社会の発展に貢献し、お客さま、地域社会等の幅広いステークホルダーの皆さまから愛される企業を目指す上で、CSRへの取り組みを最も重要な経営課題のひとつとして位置づけ取り組んでいます。

6つの重点項目

コカ・コーラウエストグループでは、地域社会との共生を事業活動の中で強く意識した「地域社会貢献活動」ならびに「地域環境推進活動」を積極的に推進するとともに、安全・安心で優れた商品をお届けする「品質保証」、お客さまのハッピーでいきいきとしたライフスタイルへ貢献する「お客さま満足」、持続可能な社会の発展の貢献に不可欠である「環境推進」、コカ・コーラウエストグループの発展を支える「社員満足」、あらゆる活動の基盤となる「コンプライアンス」と「リスク管理」の6つを重点項目として設定し、経営活動を行っています。

今回のCSRレポートでは、巻頭に、製造工場での取り組み、環境への取り組み、地域社会貢献活動を特集して紹介するとともに、6つの重点項目を中心としたCSR活動への積極的な取り組みをこのCSRレポートにてご紹介します。

私たちは、皆さまにより一層喜んでいただける商品・サービスの提供や、地球環境保全、地域社会との共生等、さまざまな取り組みを行うことで、お客さまに愛され、株主・地域社会に愛され、社員が愛する会社として成長してまいります。

「長期経営構想 2020」を策定いたしました。

このたび長期的な視点でグループ事業構造の変革を推進するため、2020年までの長期経営構想ならびにその達成に向けた第1ステップとなる2011年から2013年までの中期経営計画を策定いたしました。

1 企業理念

コカ･コーラウエストグループが提供できる価値や、どのような企業を目指すのかという観点に立ち、会社の存在意義を明確にするため、新たに企業理念を策定いたしました。

飲料を通じて価値ある「商品、サービス」を提供することで、
お客さまのハッピーでいきいきとしたライフスタイルと持続可能な社会の発展に貢献します。

この企業理念は、飲料を中心とした事業領域の中で、安全・安心で優れた品質であることはもちろんのこと、お客さまの新しいニーズを発見しつづけるとともに、絶え間ない革新によって、新しい価値を持った商品・サービスを提供することで、

- お客さまの多様なライフスタイルにおいて、おいしさ・楽しさ・健康・やすらぎ等、人々が前向きに生きるための心身の豊かさ（=ハッピー）に貢献すること
- 環境保全への貢献や地域社会との共生を事業活動の中で強く意識し、持続可能な社会の発展に貢献すること

をあらわしています。

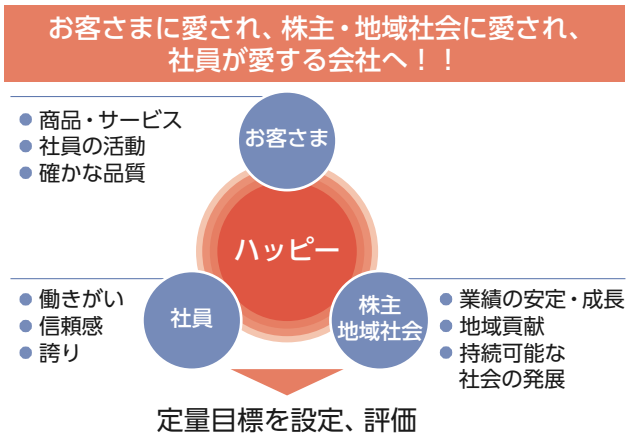
2 長期経営構想 2020

今後10年間の環境変化を予測し、「長期経営構想 2020」を策定いたしました。これは、コカ･コーラシステムがグローバルに掲げている「ビジョン 2020」を反映させ、コカ･コーラウエストグループが持続的な成長を果たすための指針となるものです。長期経営構想では「成長戦略」、「効率化戦略」、「構造戦略」を3つの柱として成長目標を達成いたします。

【2020 年に向けた全体構造】

※ザ コカ･コーラ カンパニー 2020 VISION：コカ･コーラシステムの使命である「世界中をさわやかにし、前向きになれる幸せな瞬間を提供し、価値を創造し変化をもたらすこと」を通じてザ コカ･コーラ カンパニーとボトラー社が共に成長するためのロードマップ（優先順位）

【ウエストビジョン】



また、コカ·コーラウエストグループの 2020 年のありたい姿として「ウエストビジョン」を制定し、お客さまに愛され、株主・地域社会に愛され、社員が愛する会社を目指します。

【企業メッセージ】

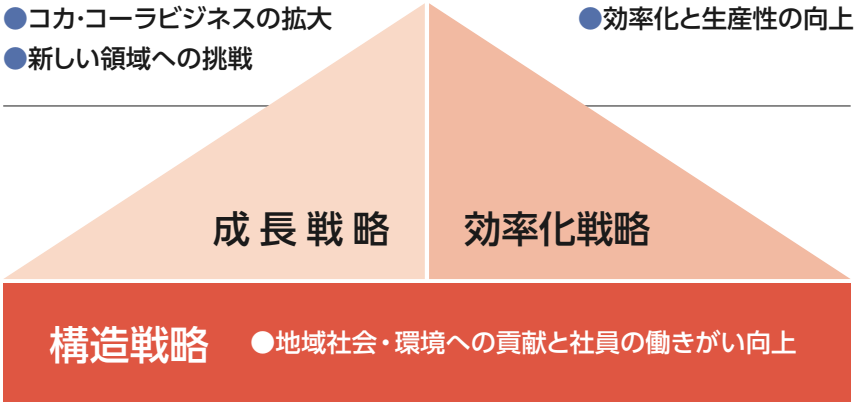
みんなの　あしたに　ハッピーを

Coca-Cola West

さらに、企業理念やウエストビジョン等を表現するものとして、企業メッセージ「みんなの あしたに ハッピーを」を設定しました。この企業メッセージは、あらゆるステークホルダーに対して「ハッピー」を提供していく姿勢を明らかにしていきます。

3 2011年～ 2013年中期経営計画「革新と成長の3年」

「長期経営構想 2020」に基づき、その第1ステップとして、2011年～2013 年の3ヵ年を「革新と成長の3年」と捉え、計画を策定いたしました。①コカ·コーラビジネスの拡大②新しい領域への挑戦③効率化と生産性の向上の戦略を推進するとともに、地域社会・環境への貢献や社員の働きがい向上に取り組み、持続的な成長を果たします。



特集 1

コカ・コーラウエストプロダクツ㈱の取り組み

世界一の品質・生産性の実現を目指して

お客さま起点で安全・安心な商品をお届けします

私たちの役割は、お客さま起点で安全・安心な商品をより低コストで製造し、タイムリーに供給することです。それぞれの工場では、「競合他社を圧倒的に上回る設備と技術力により、生産性が飛躍的に向上し、ローコスト生産を実現する」を目標に、世界一の品質・生産性の実現を目指し、日々の生産活動に取り組んでいます。また、「環境への取り組みを通じ地域から愛される企業になる」ことと同時に、「社員一人ひとりがやりがいとゆたかさを感じ、活力に満ちあふれている」企業を目指すとともにお客さまに愛され、株主・地域社会に愛され、「みんなの あしたに ハッピーを」を提供し続ける企業でありたいと考えています。

コカ・コーラウエストプロダクツ㈱
社長
森本 一弘

コカ・コーラウエストプロダクツ㈱の取り組み

コカ・コーラウエストプロダクツ㈱では「品質」を最優先事項と位置づけ、全工場で「品質マネジメント（ISO9001）」、「食品安全マネジメントシステム（FSSC22000）」の国際規格の認証を取得し、厳格な品質管理体制のもと製造しています。合わせて品質の基盤となる「環境（ISO14001）」、「労働安全衛生（OHSAS18001）」の認証も取得しています。
さらに、コカ・コーラシステム独自に定めた世界共通のマネジメントシステム「KORE（コア）」の遵守に努め、常に安全・安心でフレッシュな商品を提供することでお客さまに信頼していただけるよう、日々努力しています。

「KORE」マネジメントシステムを支える4つの側面

品　質　｜　食品安全　｜　環　境　｜　労働安全衛生

KORE (Coca-Cola Operating Requirements) とは

コカ・コーラ社商品のライフサイクル全体（調達、製造、物流、輸送、販売、回収、リサイクル）に亘る「品質」「食品安全」「環境」「労働安全衛生」の4側面に関する基準を網羅したコカ・コーラシステムが全世界共通で導入している独自のマネジメントシステムです。

KOREに取り組み安全・安心な商品をお届けします。

コカ・コーラウエストプロダクツ㈱では、昨年からKOREに取り組んでいます。今年はKORE導入後、初めてとなる製造ラインの設備更新を計画しています。KOREの要求事項にそって更新できるように取り組むとともに、これからもお客さまに安全で安心して飲んでいただける商品づくりに努めていきます。

コカ・コーラウエストプロダクツ㈱
基山工場　製造二課
4ライン マネージャー
西 克浩

4つの側面の取り組み

品　質

お客さま目線で品質管理をしています。

コカ･コーラウエストプロダクツ㈱
本郷工場　品質管理課
本村 佳郎

私のモットーはお客さま目線で品質管理を行うことです。安全･安心な商品をお届けするため、何事にも妥協をしない厳しい目でチェックし、お客さまの笑顔を思い浮かべながら、日々の業務に取り組んでいます。同時に日々の検査業務を行うだけでなく、新しい技術を取り入れる等トラブルを未然に防ぐ品質管理でありたいと常々考えています。

食品安全

厳しい基準に基づいて商品の安全を守ります。

コカ･コーラウエストプロダクツ㈱
鳥栖工場　調製課
松本 和久

私たちが安全･安心な商品をお届けする上で、常に意識しているのが、工程管理です。製造工程上の安全を損なう要因を分析し、それが除去できる工程管理を確実に実施し、商品の安全を確保し、みんなのあしたにハッピーを届けていきます。

環　境

毎日のパトロールで汚染物質流出防止に努めています。

コカ･コーラウエストプロダクツ㈱
京都工場　総務課
嵯峨根 慶彦

工場の廃棄物は徹底的に分別し、再資源化100%を守っています。また、工場内の廃棄物処理場から汚染物質を外へ出さないよう、処理場での作業は2重の排水溝の内側で行っています。私は、確実に実施されているかを確認するため、毎日3回のパトロールを続けています。これからも工場外への流出事故“0”に取り組んでいきます。

労働安全衛生

工場全体で安全に高い意識を。

コカ･コーラウエストプロダクツ㈱
明石工場　技術課
井上 草太

私は日々業務を行うにあたって、安全な作業環境を整備することを心掛けています。工場には、高所や閉所、高温の蒸気や薬品、高圧の電気配線等、危険な場所がたくさんあり、事故を起こさないようにするには、危険箇所への対策や保護具の着用の徹底が必要です。これからも工場全体で安全に関して高い意識を持ち、取り組んでいきます。

4つの側面への取り組みを期待しています。

KOREはマネジメントシステムの規格･要求事項として業界においても先進的な取り組みと考えています。今後も、このKOREへの適合はもとより、リスクマネジメントを推進し、更に高いレベルのマネジメントシステムの構築･運用に取り組むことを期待しています。

ロイドレジスタークオリティ
アシュアランスリミテッド
テクニカルグループ
テクニカル･オペレーション･マネジャー
新倉 博文 様

特集 2

環境への取り組み

次なる環境目標の達成を目指して

「長期経営構想 2020」※において、10年後の環境経営に向けた活動施策を策定し、構想の実現に向けた取り組みを進めています。

「環境への貢献」を構造戦略に

「長期経営構想 2020」では、「環境への貢献」を構造戦略の一つに位置付けています。コカ・コーラウエストグループの環境経営において地球温暖化問題、廃棄物問題、水資源の保全を重要な取り組みテーマと考え、2020年に向けた活動施策を策定しました。特に、地球温暖化問題に対しては、2009年に鳩山内閣が宣言した「温室効果ガス排出量を2020年までに1990年比で25%削減する」という目標を視野に入れ、コカ・コーラウエストグループとして38%削減という具体的な目標を設定しました。(詳細はp.10をご覧下さい。)これらの目標を2020年に達成させるためには、長期経営構想に基づき設計されている事業計画と、現場で日々運用している環境マネジメントシステムとをこれまで以上に融合させ、本業における環境改善活動を更に推進する必要があると考えています。

コカ・コーラウエスト㈱
CSR統括部
環境・広報部 担当課長
吉村 幸彦

●コカ・コーラビジネスの拡大
●新しい領域への挑戦

成長戦略

効率化戦略

●効率化と生産性の向上

構造戦略

●地域社会・環境への貢献と社員の働きがい向上

地域社会への貢献／社員の働きがい向上／環境への貢献

CLOSE UP!

環境への貢献 ～主な活動施策～

◎温室効果ガス排出量の削減
コカ・コーラウエストグループ全体で取り組む温室効果ガス削減計画の推進

◎安全・安心な廃棄物リサイクルシステムの構築
空容器・廃棄自動販売機の自社リサイクルシステムの拡大

◎水資源の保全および有効活用の推進
「さわやか自然の森」森林保全活動の実施、水使用量の削減

◎地域への環境支援
行政・専門団体と協働で取り組む地域環境推進活動の展開

※「長期経営構想 2020」：詳細は p.5-6 をご覧下さい。

2020年 温室効果ガス削減目標について

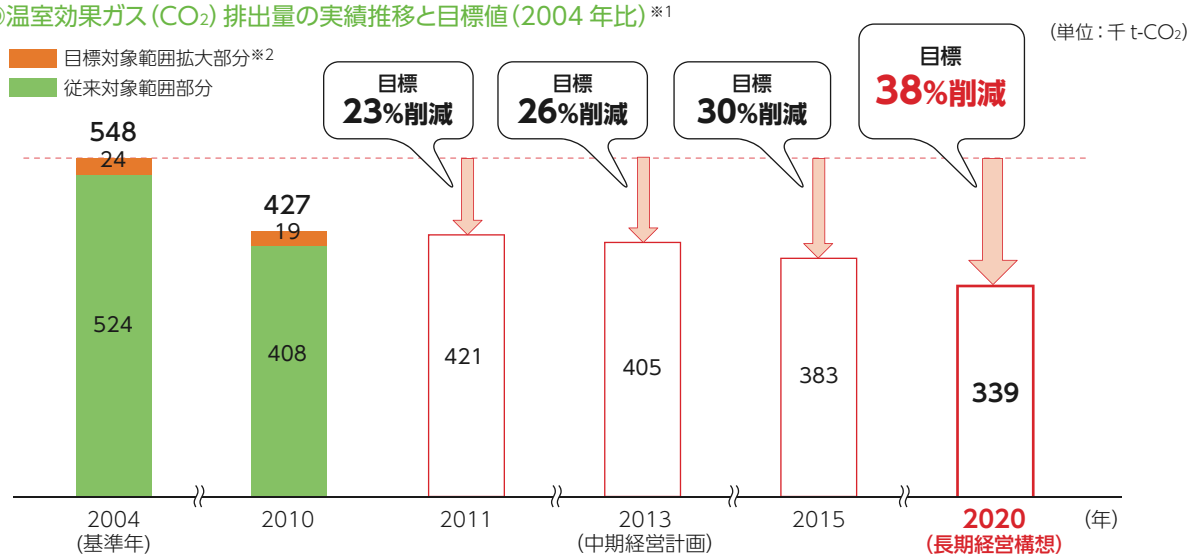
「長期経営構想 2020」では、2008年に策定した「温室効果ガス排出量を2012年までに2004年比で20%削減する」という目標をはるかにしのぐ38%削減を設定しました。これは、既に商品ライフサイクルにおける各種削減対策を実施しているコカ・コーラウエストグループにとって決して安易な目標ではありませんが、気候変動が将来の世代に及ぼす影響の重要性を鑑みて、飲料トップメーカーとして果たすべき責任を数値化したものです。具体的には、事業活動に伴う温室効果ガス排出量に占める割合が特に大きい、自動販売機ならびに工場からの排出について、新型機の積極的導入や、エネルギー使用の効率化の推進を中心に、2020年の目標達成を目指します。

新型標準自動販売機
3D VIS
(スリーディー・ヴィアイエス)

ノンフロン化やヒートポンプ機能を搭載し、ソーラーパネルやLED照明等のオプションパーツの装備が可能

※ヒートポンプ：加温時の電気ヒーターの代わりに冷却時に発生した熱を利用し、効率的に温める仕組み
※LED照明：白熱灯や蛍光灯に比べ長寿命で消費電力が少ない照明

◉温室効果ガス（CO_2）排出量の実績推移と目標値（2004 年比）※1



※1：温室効果ガス（CO_2）排出量の詳細はp.39をご覧下さい。
※2：長期目標の策定過程で、グループ事業の現状に基づく対象範囲の見直し（拡大）を行ったことに伴い、拡大範囲に対応する排出量を基準年に遡って加算しました（棒グラフにおける　色の部分）。当該加算値には、直近年と基準年の販売ケース数の比率を用いて推定した値を含みます。

コカ・コーラシステム中期計画策定

企画、研究、原液製造を行う日本コカ・コーラ㈱とコカ・コーラウエスト㈱を含むボトラー12社等で構成される日本のコカ・コーラシステムでは、製造工程から物流・輸送、販売、回収・リサイクルに至るまでのサプライチェーン全体の環境負荷削減に向けた中期環境パフォーマンス目標（2015年目標）を、飲料事業での主な環境負荷である「エネルギー」「容器」「水」「廃棄物」の4分野で策定しました。エネルギー分野においては、2015年までに事業全体のCO_2排出総量を約30%削減し、2015年時点で約60万トンのCO_2排出総量を削減する計画です（いずれも2004年比）。この中期計画への取り組みは、世界のコカ・コーラシステムで展開している事業指針「Live Positively –世界をプラスにまわそう–」を環境分野において実践するものでもあります。事業を通じて、プラスの循環を生み出し、企業として社会とともに持続的に成長していくことを目指していきます。

特集 3

地域社会貢献活動

地域社会とともに

「地域社会とともに」の基本姿勢のもと、地域社会貢献活動を通じて
地域の発展や青少年の健全育成を支援し、豊かな社会の実現を目指しています。

「企業市民」を目指し、地域社会とのより密接なコミュニケーションを

コカ・コーラウエストグループは、社会の一員としてさまざまな社会貢献活動を事業エリアの2府12県において展開しています。
この活動を継続性のあるものとするため、株主の皆さまのご理解を得て、剰余金の中から毎年一定額を積み立て、地域社会貢献活動、地域環境推進活動に使用しています。
また、自動販売機やスポーツを通じた地域社会貢献活動にも取り組んでいます。
これからも引き続き、青少年の健全育成の支援や、地域とのより密接なコミュニケーションをすすめてまいりたいと思います。

コカ・コーラウエスト㈱
執行役員 CSR統括部長
兼 環境・広報部長
立花 英樹

市村自然塾九州

文化・教育活動支援

「市村自然塾九州」では、「生きる力を大地から」を基本理念に子どもたちの健全な育成と成長を支援しています。農作物の栽培や共同生活を通じて「人として守るべきルールを身につけ、“主体性・創造性等の資質”を育む」機会を子どもたちに提供しています。近年では、PTAや教育関係者の方々からも注目をいただいています。

さわやかクラシックコンサート

文化・教育活動支援

豊かな社会（心豊かな人材育成）づくりに貢献するため、地域の皆さまに質の高い本格的なクラシック音楽を楽しんでいただく「さわやかクラシックコンサート」を開催しています。
2010年は、福岡での「ウィーン・リング・アンサンブル・ニューイヤーコンサート」をはじめ、大阪、広島の3ヵ所で開催し、素晴らしい音色を堪能していただきました。

「社会福祉支援」「スポーツ活動支援」「文化・教育活動支援」「地域大型イベント支援」の4つの活動を柱に、青少年の健全育成の支援や、地域とのより密接なコミュニケーションをすすめています。

小学校への一輪車贈呈

スポーツ活動支援

次世代を担う子どもたちがスポーツを通じて、協調性や忍耐力を養い、健全に成長することを願い、教材や教育の場を提供しています。特に一輪車は、身のこなしを良くし、神経系統の発達に有効な運動具として評価が高く、また児童が自主的に興味を持って取り組める教材として、文部科学省が定める学習指導要領に採用されています。
2010 年は事業エリア内の公立小学校 100 校へ、合計 1,000 台の一輪車を寄贈しました。

トピックス

一輪車指導者研修会を開催

実際に指導する教員の皆さまに、一輪車の乗り方はもちろんのこと、楽しさや難しさも体験し、子どもたちと一緒に乗れるようになっていただくための一輪車指導者研修会を開催しています。

さわやかファミリーミュージカル

文化・教育活動支援

「親子の絆を育む」活動として、夏休み期間中、親子で楽しめる「さわやかファミリーミュージカル」を開催しています。
2010年は、福岡と大阪の2ヵ所で不朽の名作「ヘンゼルとグレーテル」を題目に、迫力あふれる演技が披露され、会場はおとぎの世界に包まれました。

特別支援学校への教材贈呈

社会福祉支援

子どもたちの将来の社会自立を支援するため、特別支援学校に情報機器（パソコン・周辺機器）を教材として贈呈しています。
2010年は、事業エリアの全府県の特別支援学校14校へ寄贈しました。

平城遷都 1300 年祭

地域大型イベント支援

国民文化祭やインターハイ・国民体育大会等、行政や団体が主催する地域の大型イベントを地元企業として支援しています。
2010年は、奈良県で開催された「平城遷都1300年祭」に協賛しました。

特集 3

地域環境推進活動

地域社会とともに

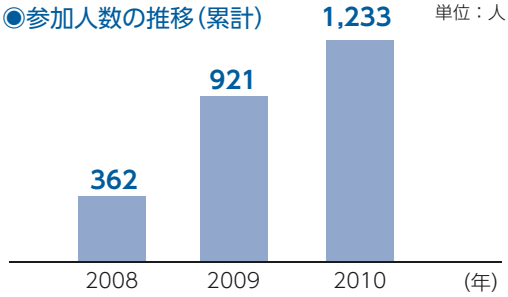
地域の人々への環境教育支援のほか、水源涵養林の保全、環境美化等
さまざまな環境保全活動に取り組んでいます。

「さわやか自然の森」森林保全活動

美しい水を育む森林の水源涵養を目的に、全工場の近郊に位置する自治体との共同管理契約林「さわやか自然の森」で、森林の保全活動を継続しています。2010年は京都府・兵庫県・鳥取県・広島県・佐賀県の5ヵ所で社員とその家族・地域の方々等約300名が参加し、枝打ちや間伐、巣箱の設置、遊歩道づくり等を行いました。

※水源涵養林（すいげんかんようりん）：雨や雪等の降水を土壌に貯留させ、河川への水の供給を調整する機能を持っている森林

◉参加人数の推移（累計）



とす さわやか自然の森
•佐賀県鳥栖市立石町の森林
•面積:17ha

とっとり さわやか自然の森
•鳥取県西伯郡伯耆町金屋谷の森林
•面積:5ha

きょうと さわやか自然の森
•京都府綴喜郡宇治田原町御林山の森林
•面積:12ha

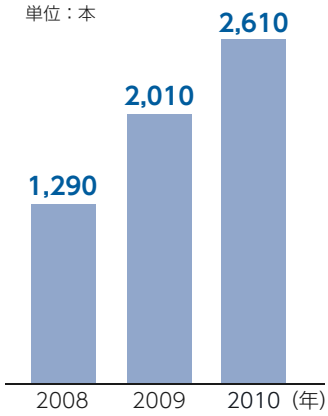
ひろしま さわやか自然の森
•広島県三原市本郷町北方財産区内の森林
•面積:7ha

ひょうご さわやか自然の森
•兵庫県小野市黍田町高山の森林
•面積:10ha

植林活動支援

地域への環境教育支援の一環として、「どんぐりの森をつくろう」植林活動を開催しています。植樹を通じて地域の方々や子どもたちに自然環境保護の重要性を感じていただくことはもちろん、荒地を森林に再生させ、樹木による温室効果ガスの吸収量を増やすことで、地球温暖化防止に貢献できる活動であると考えています。2010年は地域の植生に合わせコナラ、アラカシ等600本の広葉樹を新たに植樹しました。今後も豊かな自然環境を後世に残すため、活動を続けていきます。

◉植樹本数の推移（累計）



苗木の植樹

夏休み環境体験学習に参加した子どもたち

自然の中での環境学習

夏休み環境体験学習

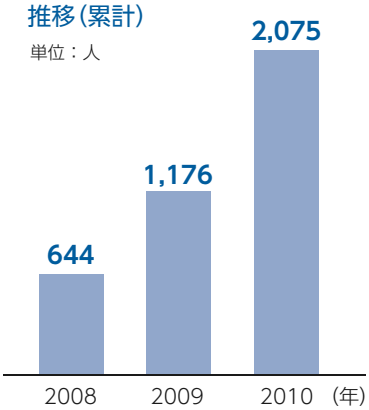
水を利用する企業として、次世代を担う子どもたちに水を育む森林の豊かさや素晴らしさを伝え、体験してもらうことを目的に「夏休み環境体験学習」を開催しています。2010年は福岡県の小学生30名が佐賀県の「市村自然塾九州」および「コカ･コーラウエスト鳥栖市民の森」で、7月28～29日の1泊2日プログラムに参加しました。プログラムでは、専門インストラクターの指導のもと、水をテーマにした自然観察や環境学習を行い、森林が持つ保水機能の重要性や地球上の飲用可能水の少なさ等、水や森林に関する課題・大切さについて理解を深めました。

学校ビオトープづくり支援

生き物が生息できる場所を子どもたち自らが設計し、先生、保護者、地域の人たちと一緒になって生き物が生息できる場所を完成させます。自然環境の大切さを学ぶとともに、子どもたちの豊かな感性を育むことを目的に、2002年よりビオトープづくりとその後の活用を支援する活動を続けています。2010年は福岡市の名島小学校でビオトープづくりを支援しました。

ビオトープづくりの様子

◉地域美化活動参加人数の推移（累計）



地域美化活動の様子

地域美化活動

地域の美化活動を、グループ社員の実践的な環境教育の場であり、また地域の方々と直接交流できる地域コミュニケーションの場ととらえ、各事業所で積極的に参加しています。2010年は事業エリア内9ヵ所で約900名の社員とその家族が参加しました。今後も継続的に活動に参加し、環境意識の向上に努めます。

特集 3

自動販売機を通じた地域社会貢献活動

地域社会とともに

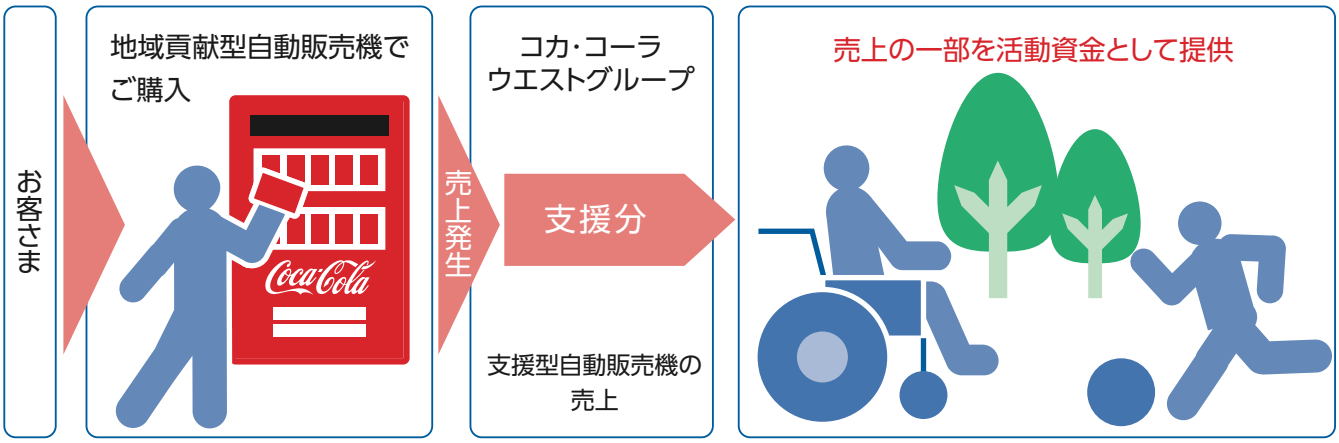
コカ・コーラウエストグループは、支援型自動販売機や災害対応型自動販売機を通じて地域社会に貢献しています。

支援型自動販売機

支援型自動販売機は、自動販売機を「皆さまからの募金箱」という考え方のもと、売上の一部を地域の社会貢献事業やイベント、スポーツ団体の活動資金として還元し、お客さまとともに地域社会を支援していく活動です。

2001年に飲料業界で初めて導入した支援型自動販売機も2010年には737台導入され、累計台数は3,000台を超えました。また台数が増えるだけでなく、その目的も新しいものが増え、その役割は多岐にわたります。

◉支援型自動販売機による地域支援活動の仕組み



スペシャルオリンピックス日本・福岡

2010年7月、スペシャルオリンピックス日本・福岡支援自動販売機を設置しました。この自動販売機は、売上の一部がスペシャルオリンピックス日本・福岡の活動資金に充てられています。スペシャルオリンピックスとは知的発達障がいのある人たちに年間を通じてオリンピック競技種目に準じたさまざまなスポーツトレーニングと競技の場を提供するとともに、参加したアスリートが健康を増進し、勇気をふるい喜びを感じ、友情を分かち合う自立と社会参加を目指しているボランティアによる世界的なスポーツ組織です 。

プロスポーツ支援

ガンバ大阪支援自動販売機

（主な事例）
- セレッソ大阪支援
- サンフレッチェ広島支援
- アビスパ福岡支援

まちづくり支援

白石町まちづくり支援自動販売機

（主な事例）
- 雲南市まちづくり支援
- 多久市まちづくり支援
- 西海市まちづくり支援

観光支援

淡路島まつり支援自動販売機

（主な事例）
- 築上町観光支援
- しものせき観光支援

環境支援

福岡市公園緑化支援自動販売機

（主な事例）
- 摂津市環境支援
- ニホンアワサンゴ環境保護・調査支援

福祉支援

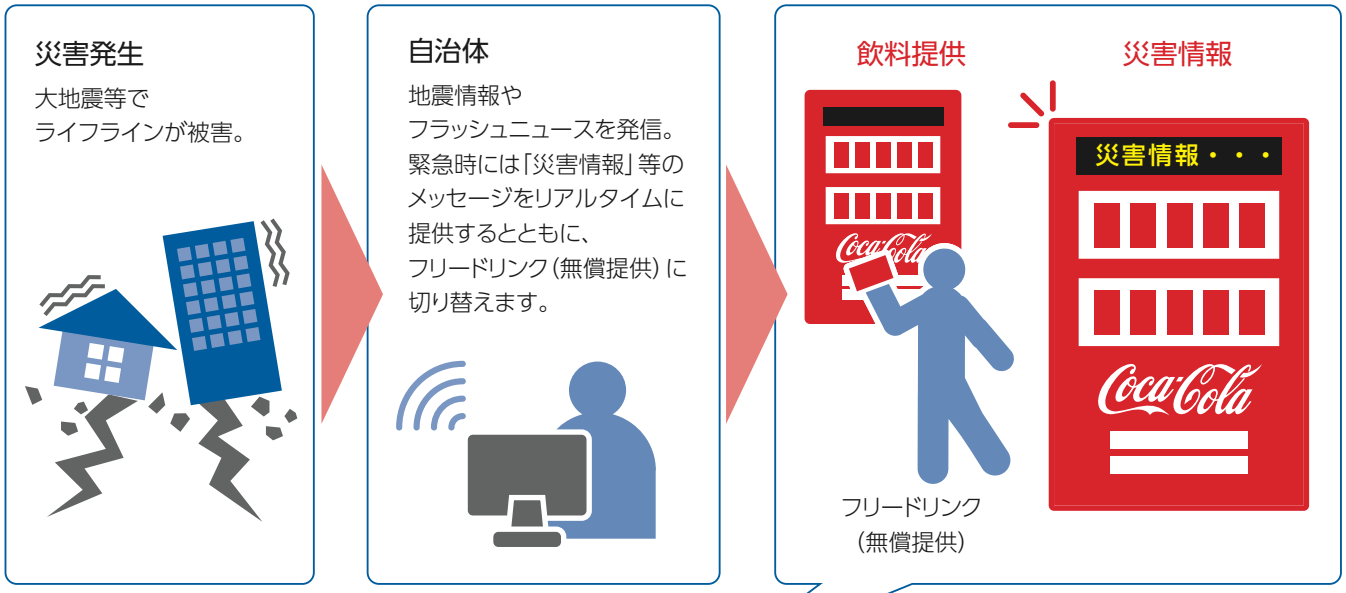
犯罪被害者支援自動販売機

（主な事例）
- こども虐待防止オレンジリボン運動支援
- リレーフォーライフ支援

災害対応型自動販売機

災害対応型自動販売機は、大地震等でライフラインが被害を受けた場合、清涼飲料水を無償で提供できる自動販売機です。また、メッセージボード付災害対応型自動販売機では、災害時の避難場所、地図情報をリアルタイムに確認できます。これまで累計 367 台を設置し、地域の皆さまの安全・安心な暮らしに貢献しています。

◉災害対応型自動販売機による地域支援活動の仕組み



◉メッセージボード付災害対応型自動販売機の機能

通　常　時	緊　急　時
●「地域情報」メッセージ表示 行政からのお知らせやイベント案内等を表示し、掲示板として活用が可能 ●「時事フラッシュニュース」メッセージ表示 時事通信社の速報ニュースを表示し、リアルタイムのニュースを提供	●「災害情報」メッセージ表示 リアルタイムでメッセージを配信 ※災害時の通話制限にも対応 ●「無償提供」設定 自動販売機内の商品を無償提供

災害対応型自動販売機

兵庫県災害対応型自動販売機

（主な設置自治体）
- ●京都府
- ●鳥取県大山町
- ●島根県安来市
- ●福岡県大川市

自動販売機を通じて地域社会に貢献していきます

地域貢献型自動販売機の仕事に携わるようになってから、たくさんの地域の方々と出会うことが多くなり、「地域社会」をより身近に感じるようになりました。私たちの設置した自動販売機によって、地域社会の発展や地域の皆さまの安全・安心な暮らしづくりのお手伝いができることを大変うれしく思います。これからも自動販売機を通じて地域社会に貢献していきます。

コカ・コーラウエスト㈱
法人営業推進課 地域貢献型自動販売機担当　**山本 義隆**

特集 3

スポーツを通じた地域社会貢献活動

地域社会とともに

コカ･コーラウエストグループのカンパニースポーツクラブである
ラグビー部とホッケー部（チーム名：「レッドスパークス」）は、
多くのファンの皆さまや地域の方々から愛されるチームを目指し、さまざまな活動を行っています。
試合を通じて、皆さまに「感動とさわやかさ」をお届けすることはもちろん、
ラグビー・ホッケー競技の普及や青少年の育成等、地域社会貢献活動を積極的に行っています。

コカ･コーラウエスト レッドスパークス ラグビー部

[創部] 1966 年　[監督] 向井 昭吾

[本拠地] 福岡市

[所属リーグ] ジャパンラグビートップリーグ（全 14 チーム）

コカ･コーラウエスト レッドスパークス ホッケー部

[創部] 1996 年　[監督] 柳 承辰（ユー スンジン）

[本拠地] 広島市

[所所属リーグ] ホッケー日本リーグ（女子：全8チーム）

『熱意=親近感』子どもたちからも、「タツキチ!!」と呼ばれます。

コカ･コーラウエスト㈱
購買者マーケティング部
コカ･コーラウエスト
レッドスパークス ラグビー部
スクラムコーチ（選手兼任）
西浦 達吉

私は、どんな時でも、まずは『熱意』をもって相手と接することを信条としています。これまでに色々な場面で指導をさせてもらいましたが、後に試合会場で子どもたちや保護者の方々から応援や感謝のお言葉をたくさんいただきます。これが「ラグビーを通じて地域の皆さまとつながっているんだなぁ」と実感できる瞬間であり、私自身のパワーの源となっています。また、「子どもたちや地域の皆さまに勇気と感動を与えるような働きをみせたい」という責任感も生まれます。ベテラン選手となりましたが、このデジタルな時代に、あえてコミュニケーション第一とし、これからも熱意をもってチャレンジします。

『視点の転換』感動や喜びを“皆さま”と共感していきたい。

コカ･コーラウエスト㈱
厚生部 広島駐在
コカ･コーラウエスト
レッドスパークス ホッケー部
主将
小野 真由美

試合後やホッケー教室で皆さまからいただくありがたいお言葉と笑顔。私には、ホッケーを通じてたくさんの方々とのうれしい出会いがあります。これまでホッケーとは、”自己との戦い”という思いが強かったのですが、応援してくださる皆さまや地域社会とふれあえる機会が増えた今では、“皆さまと喜びを分かち合いたい”という想いでいっぱいです。「ありがとう、また教えてね！」、「楽しかった」、「試合勝ったね!」等の話題が励みとなり、次への活動意欲となります。今後も「感動や喜びを皆さまと共感する」という気持ちを大切に、日々の活動を行ってまいります。

レッドスパークスの地域社会貢献活動

❶地域イベント参加

地域の活性化に貢献するために地域のさまざまなイベントに積極的に参加しています。

〈2010 年の主な活動〉

・博多どんたく港まつり　・キャナルシティ博多 年末チャリティ餅つき
・ひろしまフラワーフェスティバル　・ひろしま国際平和マラソン

❷講演・講話

監督や選手の経験を織り交ぜた講話で、スポーツを通じた結束力や協調性、夢を持つことの大切さを伝えています。

〈2010 年の主な活動〉

・小学校、中学校　・中学校長会
・ラグビー指導者会等 計 6 件

❸クリニック活動

幼児から大学生まで幅広い年齢層にわたり、ラグビーやホッケーの技術的指導を行い、競技力向上のお手伝いをしています。
また、生徒だけでなく、指導者も交えて、クリニックを実践することで、競技の安全性や基礎づくりの大切さを互いに確認しあいながら実施しています。

〈2010 年の主な活動〉

・ラグビークリニック　7 件　・ホッケークリニック　10 件

❹普及活動

ラグビーやホッケーが未経験の方々を対象に、それぞれの競技をより安全に楽しくルール化した「タグラグビー」や「ユニホッケー」教室を開催しています。ひとつのボールを仲間と追いかけ、運び、守り、得点することを体験してもらうことで、スポーツ本来の楽しさはもちろん、「絆」を深めることや「コミュニケーション」の大切さを伝えています。

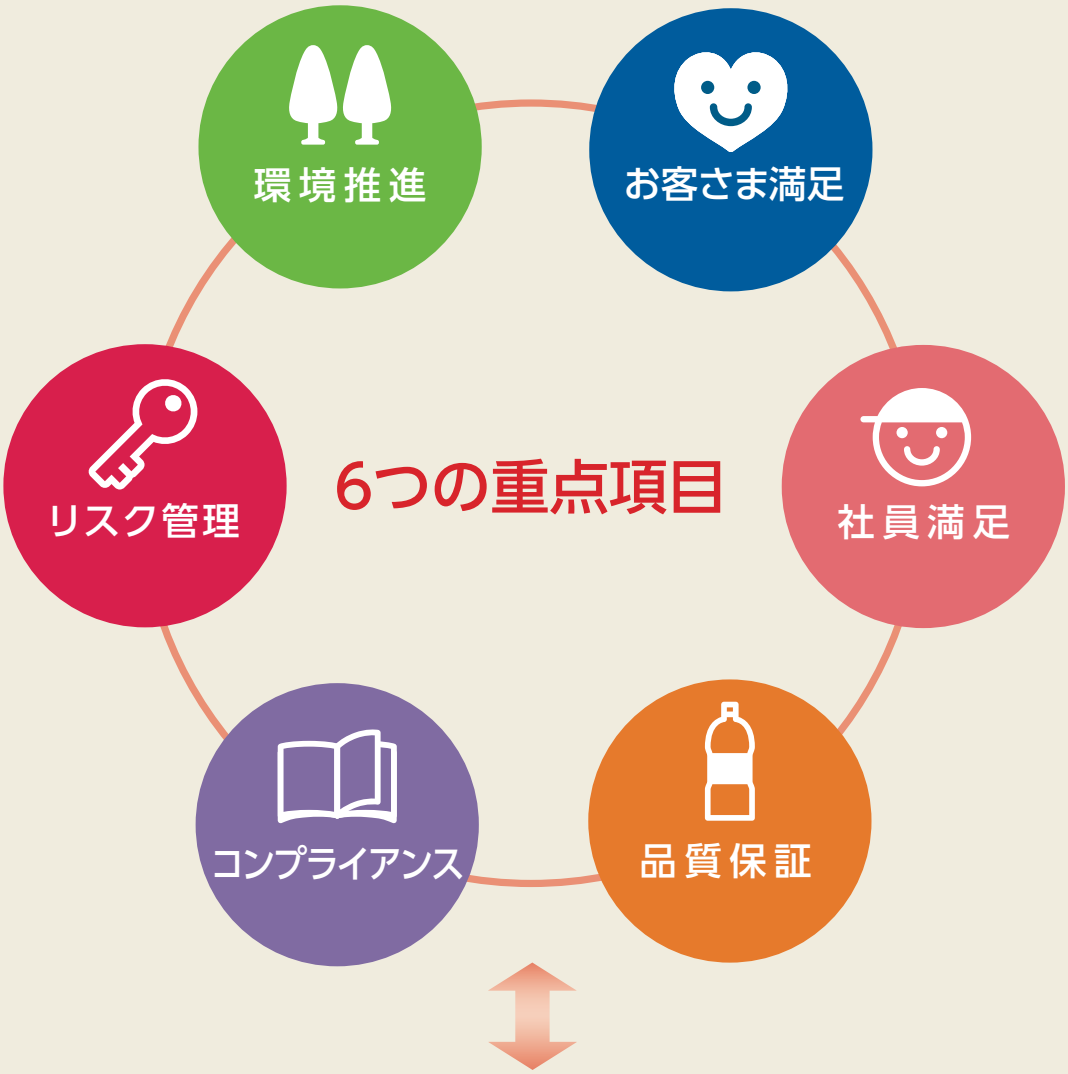
〈2010 年の主な活動〉

・タグラグビー教室　11 件　・ユニホッケー教室　4 件
・「コカ･コーラ 未来への夢はじめよう。」プロジェクト（ホッケー競技）［日本コカ･コーラ㈱主催］

※タグラグビー：腰につける2本のタグが「タックル」のかわりです。タグを取られないように味方とボールをつなぎながら、相手ゴールを目指す安全なスポーツです。
※ユニホッケー：Universal(誰でも、どこでも)とHockeyを組み合わせた造語で、「いつでも、どこでも、誰にでもできる」スポーツとして名付けられました。スティックやボールはプラスチック製で柔らかくできており、安全性が高く、スピードが出ないようになっています。

コカ・コーラウエストグループにおける「CSR」の６つの重点項目

「お客さまのハッピー」と「持続可能な社会の発展」への貢献。
その実現のために取り組む“6つの重点項目”。



ステークホルダーの皆さま

※世界のコカ・コーラシステム全体でも同様に、日々の業務を通じて、人や社会への貢献とビジネスの成長を両立させることにより、持続可能な社会の実現を目指しています。

コカ･コーラウエストグループでは、持続可能な社会の発展への貢献と、お客さまや地域社会等の幅広いステークホルダーの皆さまから愛される企業を目指す上で、CSRの取り組みを重要な経営課題のひとつとして位置付け、「お客さま満足、社員満足、品質保証、コンプライアンス、リスク管理、環境推進」の6つを重点項目として取り組んでいます。

6つの取り組みが目指す姿

お客さま満足

お客さまとのコミュニケーションを大切にするとともにお客さまの声を重要な情報と捉え、積極的に企業活動へ活かすことでお客さま満足の向上を図っています。

社員満足

社員満足度を向上させる仕組みを構築し、社員と会社の強い信頼関係のもと、社員が仕事を通じて働きがいと誇りを持てる会社を目指しています。

品質保証

社員一人ひとりが「品質」を最優先事項として高品質のオペレーションを実践することにより、お客さまに、常に安全・安心・フレッシュな商品を提供し、業界No. 1の信頼を獲得します。

コンプライアンス

コカ･コーラウエストグループ行動規範の一人ひとりへの浸透を基軸として事業活動の健全化と企業品質の向上を図っています。

リスク管理

会社の抱えるさまざまなリスクに対して、発生を予防するとともに危機発生時には迅速・適切に対応をとり、被害の極小化を図っています。

環境推進

持続可能な社会の実現に貢献する企業として飲料業界における「環境先進モデル企業」および地域社会とともに環境保全活動を実践する企業になることを目指しています。

重点項目①

お客さま満足

コカ·コーラウエストグループは、基本方針のもと、お客さまの声を重要な情報と捉え、
積極的に企業活動に活かし、さらなるお客さま満足の向上に取り組んでいます。

お客さまご満足のための基本方針

私たちコカ·コーラウエストグループは、お客さまのご満足実現を最優先すべき判断基準として
位置づけ、企業活動を行ってまいります。

私たちは、お客さまの視点に立ち、お客さまの声を積極的に企業活動に活かすことで、
常に「おいしさ」「便利さ」「楽しさ」「安心」を提供し続けると共に、
更なるお客さまのご満足を徹底して追求します。

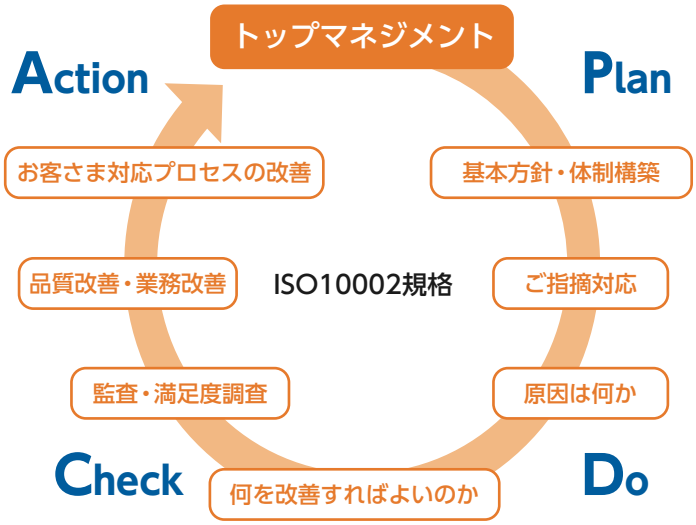
お客さまご満足のための行動指針

- お客さまのお問合せ·ご指摘には、迅速かつ適切に誠意をもって対応します。
- お客さまに安心して飲んでいただける、安全な商品を提供します。
- お客さまの声を積極的にお聞きし、ニーズに合った新鮮で高品質の商品·サービスを提供し、より高いご満足が得られるよう、課題の解決、商品·サービスの改善に努めます。
- 社会に対する責任として、関係法令および社内の自主基準を遵守いたします。

お客さま満足向上の取り組み

コカ·コーラウエストグループでは、ISO10002のPDCAサイクルによるお客さま満足の向上を目指しています。お客さまからいただいた声を積極的に経営活動に活かすことがお客さまご満足の向上につながると考え、経営トップを始め、社内で共有し、よりよい商品やサービスの提供に向け、改善活動に取り組んでいます。

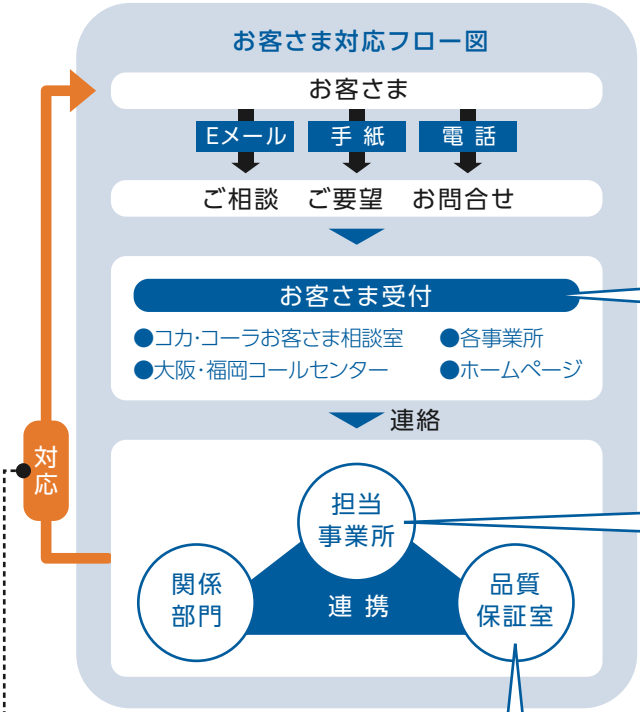
ISO10002 PDCA サイクル



※ISO10002:ご指摘対応の基本原則やご指摘対応プロセスの手順を規定した国際規格

お客さまの声にお応えする取り組み

あらゆるお客さまからのご指摘やご要望、お問合せに対し、グループ全体で迅速かつ適切に対応できる体制を構築しています。単にお客さまの声にお応えするのではなく、コミュニケーションの最良の機会として積極的な対応を心がけています。



お客さまの立場にたったサービスを

コカ·コーラウエスト販売機器サービス㈱
福岡コールセンター
高田 麻耶子

電話応対では、常にお客さまの立場にたった対応を心がけています。お客さまからのご指摘やご要望を正確にお聞きし、迅速・誠実に対応することを大切にして、これからもお客さまにご満足いただけるよう日々の業務に努めていきます。

「West魂」を胸に刻み7名のメンバーで活動しています

コカ·コーラウエスト㈱
チェーンストア 岡山支店
武田 裕二

私たちが所属している支店は、主に岡山県南部（倉敷市・岡山市）を担当しております。私たち7名の信条は、「スピード」と「感謝」そしてなにより「誠実に対応すること」です。ご指摘いただいたお客さまから厳しいお言葉をいただくこともありますが、最後にお客さまが笑顔を見せてくれた時は「みんなの あしたに ハッピーを」に一歩近づくことができたと感じる瞬間です。

「お客さまにわかりやすく」をモットーに

コカ·コーラウエスト㈱ 品質保証室
渡部 敦子

お客さまからご指摘をいただいた際は、お客さまが疑問に思われる点について分かりやすく明確にし、少しでも早く安心いただけるよう速やかに報告するよう心がけています。お客さまの立場に立って分析・報告することでお客さまからの信頼を獲得し、安心してご愛飲していただくことが願いです。

活動事例　お客さまへの対応に関するアンケートについて

コカ·コーラウエストグループでは、更なるお客さま満足を目指し、ご指摘いただいたお客さまから対応に関する評価やご要望を伺うアンケートを行っています。いただいたお客さまからのご意見は、営業担当者にフィードバックするとともに、課題解決や業務改善等のサービスの向上につなげています。

お得意さまは、お客さまの満足を実現するための重要なパートナーです。
お得意さまの販売形態ごとに専門体制を整え、お得意さまと協働でさまざまな活動を行い、
お客さま満足の向上に取り組んでいます。

ベンディングの取り組み

- お客さまのニーズや販売データに基づいた商品構成
- 設置ロケーションに応じた自動販売機の提案
- 定期訪問による商品管理と機器メンテナンス

ベンディングチャネルは、自動販売機を通じたビジネスを展開しています。お客さまからの設置に関するご相談、ロケーションやご要望に応じたご提案をはじめ、自動販売機を設置いただいた後の飲料補充やメンテナンス等、自動販売機に関する全てのサービスを担当しています。また、電子マネーへの対応や省エネ特性に優れた自動販売機、地域社会に貢献する自動販売機等を提供し、さまざまなお客さまのご要望にお応えいたします。

活動事例　トータル管理でお客さまにもお得意さまにも喜んでいただきました。

コカ･コーラウエスト㈱
ベンディング兵庫西支店
戸島 稔

自動販売機を設置いただいているお得意さまから「いろいろな種類の商品を販売して、お客さまに喜んでもらいたい。だけど、自動販売機が多すぎると手間がかかるし、電気代がかかるから困る」という声をいただくことがあります。
そのような中、当社ではトータル管理を提案することで、お得意さまのニーズにお応えする活動に取り組んでいます。
コカ･コーラウエストグループでは、缶やペットボトル、紙カップ、紙パック等、さまざまな自動販売機を取扱っておりますので、お得意さまには当社に全ての自動販売機を任せていただくことで自動販売機の種類、台数、品揃えの見直しや経費の削減等を提案しています。
ウシオ電機株式会社播磨事業所様は、昨年トータル管理をさせていただいたお得意さまです。お得意さまにとっては、窓口としての業務負荷の軽減や自動販売機の電気代削減、オフィスへの出入り業者が制限されセキュリティー強化につながるとともに、社員の方には、どの自動販売機でも豊富な品揃えで同じサービスを提供することで喜んでいただく等、お客さまとお得意さまのニーズ両方を実現するお手伝いができました。

1. 台数集約
   →電気代削減
2. 商品構成の
   バリエーション UP
3. 台数集約後の
   有効スペースへの
   ベンチや
   分別回収 BOX
   設置

等

お得意さまコメント

トータル管理で作業の効率化につながりました。

ウシオ電機株式会社播磨事業所
管理部門 管理部
人事課　上級調査役
福永 達男 様

今までは、自動販売機の改善要望や不具合対応等の際、メーカー各社に連絡をしていました。
今回のトータル管理によって作業対応の改善が図れ、感謝しています。今後もさらなる改善を期待しています。

チェーンストアの取り組み

- お客さまの来店目的や購買動機に基づいた販売促進策の提案
- 店舗の特性に応じた最適な商品とパッケージの品揃えの実施
- 定期訪問による商品の賞味期限確認

チェーンストアチャネルは、スーパーマーケット、ディスカウントストア等の量販店を担当しています。変化の著しい市場環境に対応できるよう、来店目的や購買動機等のお客さま動向を把握し、お得意さまの店舗特性に適した品揃えや販売促進策のご提案を実施しています。

リテール・フードサービスの取り組み

- お客さまのニーズにあった品揃えとメニュー提案
- 最適な販売機材、季節やメディアと連動した広告物提供
- 定期訪問に基づく機器メンテナンスと衛生管理

【リテール】

リテールチャネルは、酒販店、食料品店や交通マーケット等の一般手売りマーケットを担当しています。多岐にわたる業種や業態の店舗ごとに、お客さまのニーズに応じた商品構成や販売に適した機材のご提案、各種広告物の提供を行い、お客さまに喜んでいただけるお店づくりのお手伝いをしています。

【フードサービス】

フードサービスチャネルは、ファーストフード店・映画館・ファミリーレストラン・レジャー施設等のお得意さまを担当しています。定期的な訪問による緊密なコミュニケーションを図り、さまざまなご提案や衛生管理の徹底等、パートナーシップの強化に努めています。

また、2010年はHORECAプロジェクトを立ち上げ、地域の特性やお客さまのニーズ等を把握し、提案できる活動を行っています。

※HORECA：ホテル・レストラン・カフェの頭文字

重点項目②

社員満足

コカ·コーラウエストグループの発展を支える社員がやりがいと働きがいをもって、
いきいきと働ける会社づくりを進めています。

コカ·コーラウエストグループ 人事マネジメントの基本方針

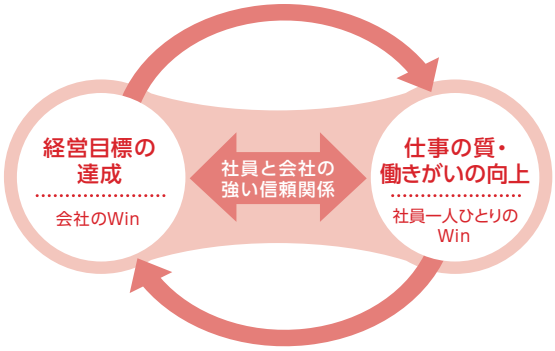
仕事を通じて、
「社員のやる気を引き出し」
「社員のやりがいを高め」
「社員の充実した生活を支援する」
そのために

- チャレンジし、成長しようとする個人の能力開発と発揮の機会を会社は提供します
- 個人の意欲と多様性を尊重し、属性に拠らない人材の活用を行います
- 役割や成果、能力を正しく評価し、適切な処遇で報います
- 仕事とプライベートを両立できるようにし、安心して仕事に取り組めるような環境をつくります

社員のやりがいと働きがいの向上

コカ·コーラウエストグループ社員全員が「お客さま起点」で行動するには、何より社員と会社が強い信頼関係で結ばれていることが不可欠です。そこで、一人ひとりのやりがいと働きがいを高めるための諸施策を「コカ·コーラウエストグループ人事マネジメントの基本方針」のもとに推進していきます。

社員と会社の強い信頼関係（イメージ図）



働きやすい職場づくり

コカ·コーラウエストグループでは、社員のワークライフバランスの実現に向けた取り組みを推進しています。次世代育成支援対策推進法に基づく「第二期次世代育成支援行動計画」を策定し、2010年は、育児・介護休業法の改正に伴い、育児短時間勤務制度や看護休暇制度の拡充、介護休暇の新設等の制度の見直しを行いました。男性の育児参加への関心も高まっており、2010年は3名の男性社員が育児休業を取得しました。
また今年は、2011年4月1日～2014年3日31日を計画期間とする「第三期行動計画」を策定し、更なる取り組みに着手します。

※ワークライフバランス：仕事と私生活の両立のこと

コカ·コーラウエストグループ
「第二期次世代育成支援行動計画」
<計画期間>
2009年4月1日～2011年3月31日（2年間）
<計画内容>
- 各種制度についてのご案内、情報提供をします。
- さまざまな勤務形態の検討・試行導入をします。
- 仕事と私生活を両立できるような社内風土を目指します。
- 所定外労働時間削減、年次有給休暇取得促進のためのさまざまな活動をします。

人材育成

「お客さまに信頼される人材の育成」を基本方針として以下の考え方に基づいたプログラムを実施しています。

- お客さま起点の社員育成プログラムの策定・実行
- 社員の自律的成長プログラムの支援
- On the Job-Learning（オン・ザ・ジョブ・ラーニング）による仕事の実践力向上

人材育成体系

		スタッフ	リーダー	マネジメント	エクゼクティブ
OFF-JL	必須研修	新入社員研修	3年目研修	管理職研修	役員研修
	選抜研修	～Coca-Cola West Group「Wing College」～ ビジネススクール 基礎コース / ビジネススクール 応用コース / 経営塾 上級管理職コース / 経営塾 経営コース ※経営塾、ビジネススクールは、各階層に応じたビジネス能力を開発することを狙った社内スクールです。これらを総称して Coca-Cola West Group「Wing College」と呼び、体系的にキャリア形成を進める仕組みとして運営しています。			
	自己啓発	通信教育			
		社内オープンセミナー、社外セミナー			
	専門教育	機能別技術研修			
OJL		職場における課題解決を通じた学び			

●3年目研修

若手社員育成の一環として 2009 年より入社 3 年目の社員を対象とした研修を実施しています。研修では、今後仕事をする上で必要な知識を学び、グループディスカッションで同期との意見交換や、情報共有を行うことで、今後の目標を設定し本人の意識やモチベーションの更なる向上につなげています。

研修に参加して、今後の自分の課題が明確になりました

コカ･コーラウエスト㈱
西福岡業務センター
武下 祐美

グループディスカッションや講義を通じて、それぞれの所属で頑張ってきた同期とたくさんの意見交換が出来ました。会社や所属の異なる方との意見交換は、お互いの成長を確かめ合う良い機会となりました。また、3 年後の目標を設定したことで、自分の課題が明確になり有意義な研修でした。

労働安全衛生について

社員の健康と職場の安全についての取り組み

コカ･コーラウエストグループでは、『社員が心身ともに「健康」で「安全」に働くことが最優先』の考えのもと、健康の保持増進と職場の安全水準の維持向上に努めています。

社員の健康については、主要拠点に産業医や保健師等を配置し、面談や保健指導を行うとともに、家族も利用できる相談窓口を外部に設け、サポート体制を整えています。また、人間ドックの受診を推進する等、疾病の早期発見・早期治療に力を入れています。

職場の安全については、労災事故が発生した場合の再発防止策はもちろん、全社で事例を共有する等、「労災ゼロ」に向け活動を行っています。

安全運転への取り組み

コカ･コーラウエストグループでは「車両はなくてはならない重要なパートナー」の考えのもと、新入社員研修や安全運転管理指導者研修等の各種研修の実施、セーフティーレコーダーやアルコール検知器の導入を行っています。

また、2010年は新たに運転者としての心構えや注意事項等を記載した「安全運転の心得」を作成し、各職場での教育や安全運転の意識向上に活用しています。

※セーフティーレコーダー：スピード超過、急ブレーキ・急ハンドルを感知する仕組みで、運転状況の見える化を図り、エコドライブを推進するためのもの

人権の尊重

コカ･コーラウエストグループでは、「個を尊重し、多様性を活かした会社経営」を目指して、さまざまな人権問題に積極的に取り組んでいます。コカ･コーラウエストグループは人権問題を自らの課題として受け止め、他人を思いやり、常に相手の立場に立った行動ができる社員育成および活力ある健全な職場環境づくりを目指しています。

2010年は、グループ会社部門長以上への人権啓発講習会を実施し、「企業と人権」というテーマについて学習する機会を設けました。

社長による冒頭挨拶

人権啓発講習会

重点項目③

品質保証

コカ・コーラウエストグループでは、安全・安心でフレッシュな商品を提供するため、
お客さまのお手元に商品が届くまでの各過程において、品質管理の徹底に取り組んでいます。

品質管理について

コカ・コーラウエストグループではコカ・コーラシステムが独自に定めた世界共通の基準であるマネジメントシステム「KORE」（詳細はp.7-8をご覧下さい。）のもと、厳格な品質管理体制を構築しています。製造工場における国際規格取得を始め、工場出荷後の保管、輸送、販売においても商品の品質を維持し、お客さまにおいしくお飲みいただけるよう品質管理を行っています。

工　場　お客さまに安心して飲んでいただける商品をつくります

私は、一人でも多くのお客さまに安心して飲んでいただける商品づくりを常に心掛け、生産活動を行っています。工場内の衛生管理の徹底はもちろん、製造トラブルによる不適合品を出さないように各工程の運転状況にも気をつけています。

コカ・コーラウエスト
大山プロダクツ㈱
品質管理課
係長
松井 幸一

物流（輸送）　安全・安心・高品質な商品を笑顔と共にお届けしています

私は、商品に愛情を持って接し、無事故で確実な運行をするため常にゆとりのあるやさしい運転を心掛けています。これからも健康管理に気をつけ、運行中は運転に集中し、無事故で輸送品質向上に努めていきます。

コカ・コーラウエスト
ロジスティクス㈱
関西支店　輸送課
川本 ひとみ

工場　→　物流（倉庫管理、輸送）

物流（倉庫）　商品の保管管理に細心の注意を払い、高品質なオペレーションを実施しています

商品の保管管理や入出庫業務の中で最も気を付けていることは、商品を最適な状態で安心してお客さまにお届けするために、倉庫内の温湿度を日々チェックし、環境の変化に応じた保管を行うことです。また、入出庫業務においても高品質で安全なオペレーション業務を行っています。

コカ・コーラウエスト
ロジスティクス㈱
九州支店
九州物流センター
古賀 芳幸

店　舗　「高品質な商品」をお客さまにお届けし続けます

お客さまに安全・安心で新鮮な商品を提供するために、各ロケーションに合った品揃えや商品の先入れ先出しの徹底に努めています。これからも日々の活動の中で「高品質な商品提供」を意識し、フレッシュな商品をお客さまへお届けします。

コカ・コーラウエスト㈱
リテール・フードサービス
福岡支店
柳瀬 史朗

店　舗　新鮮で美味しい商品を安心して飲んでいただけるように、日々活動しています

私が心がけていることは、フレッシュな商品をお届けすることです。お得意さま店舗を訪問した際は、商品の先入れ先出しの徹底はもちろん、自動販売機の売上本数を確認することで機内の滞留期間も確認しています。これからも、お客さまに安心して飲んでいただくために何が必要かを一番に考えて日々の活動に全力を尽くします。

コカ･コーラウエスト
リテールサービス㈱
岡山営業所
後藤 純司

メンテナンス　販売機器の故障やトラブルには迅速に対応することを一番に考えています

私は、市場の販売機器を定期的に点検し、安全で正常に稼動するよう活動を行っています。万一、機器の故障やトラブルが発生した場合には、いかに迅速に正常な状態に戻すことが出来るかを考え活動しています。これからも販売機器を安全で正常に稼動させることで、お客さまへ一番おいしい状態でお届けできるよう日々の活動に取り組みます。

コカ･コーラウエスト
販売機器サービス㈱
福岡西フロントセンター
平野 大介

自動販売機　お客さまに安心しておいしく飲んでいただける商品を提供したい

私は、お客さまに新鮮な商品を届ける事を最優先に考え日々活動しています。賞味期限管理を徹底して行い、これからもをお客さまに安心しておいしく飲んでいただけるよう活動を行っていきます。

ウエストベンディング㈱
中央福岡第一営業所
宮本 賢二

衛生管理　「食の安全を守る」確実な品質管理を行います

私は、ディスペンサーや紙カップ自動販売機の定期的な味覚確認やライン洗浄を行い、お客さまに安心して飲んでいただけるよう活動を行っています。これからも技術向上に努め、「食の安全を守る」確実な品質管理を行っていきます。

コカ･コーラウエスト
販売機器サービス㈱
福岡西フロントセンター
岡崎 清美

重点項目④

コンプライアンス

企業理念を実現するために社員としての行動の基本を示すものとして
「コカ·コーラウエストグループ行動規範」を制定しています。
この行動規範をコンプライアンス活動の中核と位置づけ、すべてのステークホルダーから
信頼される企業を目指し、コンプライアンス確立のためのさまざまな取り組みを積極的に実施しています。

コカ·コーラウエストグループ行動規範

私たちは、すべての法令を遵守するとともに、社会的良識をもって誠実に行動し、すべてのステークホルダーからの信頼を得ることで企業理念を実現します。

●お客さまに対して
私たちは、常にお客さまの立場に立って行動し、お客さまのご満足を追求します。

●お得意さまに対して
私たちは、お得意さまをお客さまのご満足を実現するためのパートナーとして大切にし、お互いの繁栄を目指します。

●お取引先に対して
私たちは、お取引先との公正で対等な取引を通じ、お互いの共存を図ります。

●社員に対して（会社と社員・社員間）
私たちは、職場のすべての人たちがいきいきと働くことができるように、お互いの考え方や立場を尊重します。

●株主に対して
私たちは、健全かつ透明性のある経営に努め、企業価値を高めます。

●社会に対して
私たちは、企業市民として社会的な責任を果たし、より豊かな社会の実現に貢献します。

行動のセルフチェック

あなたがしようとしていることは、
1. 法律に触れていませんか?
2. 企業理念やビジョンに沿っていますか?
3. お客さまや社会の人々から支持されますか?
4. 相手の立場に立った行動ですか?
5. 家族に見られて恥ずかしくありませんか?
6. 自分自身で本当に正しいと思いますか?

もう一度、自分の心に問いかけてみてください

行動規範に則った行動をとるために、行動のポイントをまとめた「行動のセルフチェック」を作成し、自己チェックに活用しています。

コンプライアンス教育・啓発活動

コカ·コーラウエストグループでは、新入社員研修や所属長研修等の各種研修でコンプライアンス教育を実施しています。また2010年は、管理職を対象とした法令学習や身近な事例を活用した各職場での「コンプライアンスKYT（危険予知トレーニング）」を実施しています。

事例紹介　法令学習について

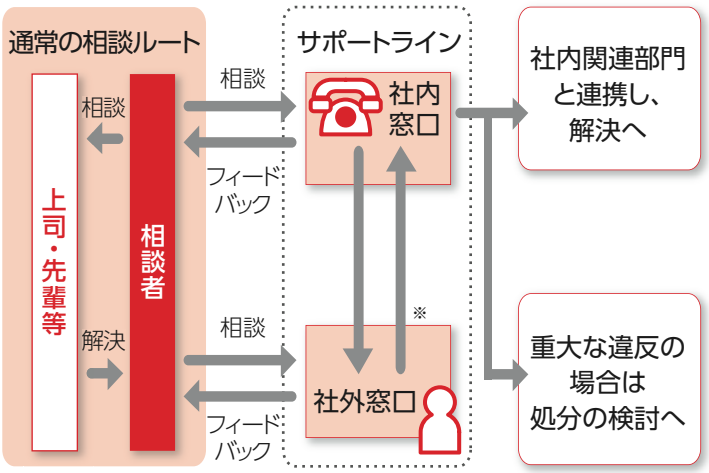
2010年は、業務に関連する法令を中心に社内イントラネットを活用した学習を実施しました。
学習を通して、管理職として必要な知識の習得と法令遵守の意識向上を図っています。
【対象】
コカ·コーラウエストグループ管理職
【学習テーマ】
食品衛生法 / 労働基準法 / 労働安全衛生法 / 道路交通法

内部通報制度

コカ·コーラウエストグループでは、健全な会社づくりを行うために、「コカ·コーラウエストグループコンプライアンスサポートライン」を設置しています。
この制度は、社内におけるコンプライアンスに反する行為について、会社として速やかに認識し是正するとともに、「あたり前のことをあたり前に」実践できる組織風土を醸成し、健全な会社づくりを行うための制度です。

社内報やイントラネットを活用して、サポートライン制度の概要や仕組み、利用方法を説明し、利用の促進に努めています。

サポートラインのフロー図



※本人の承諾なしに、氏名の開示は行いません。

「購買の基本原則」に則った調達活動の推進

コカ·コーラウエストグループでは、調達業務を行うにあたっての基本姿勢・活動指針、守るべきルール、行ってはならない行為等を明文化した「購買の基本原則」を制定し、公正で、かつ透明性の高い調達活動を推進しています。

また、同時に「グリーン購入実施要領」を制定し、環境保全を目的に、環境に配慮した購買品を可能な限り優先的に購入し、循環型社会の形成に向けた取り組みを推進しています。

コカ·コーラウエストグループ購買基本方針

1.公正かつ透明性の高い購買取引
購買取引を行うにあたっては、登録されたお取引先に対して平等な機会を提供し、公正にこれを取り扱います。お取引先の選定は、品質・価格・納期・安定供給力・信頼性の観点から、公正に行います。

2.経済合理性（適正な品質・数量・価格・納期）に基づく購買取引
購買取引を行うにあたっては、経営活動に必要な物品・役務等の購買品を必要とする所属と購買を担当する所属の権限と責任のもと、適正な品質・数量・価格・納期等の観点から決定し行います。

3.関係法規の遵守と機密保持
購買取引を行うにあたっては、関係する諸法規を遵守します。お取引先から得た情報は、厳守事項として慎重に管理し、お取引先の承諾がないまま第三者へは開示しません。

4.環境への配慮
責任ある企業市民として、環境保全に配慮した購買取引を推進していきます。

コカ･コーラウエストグループは、経営の効率性・透明性を向上させ株主価値を増大させるために、コーポレート・ガバナンスの強化や内部統制に取り組んでいます。

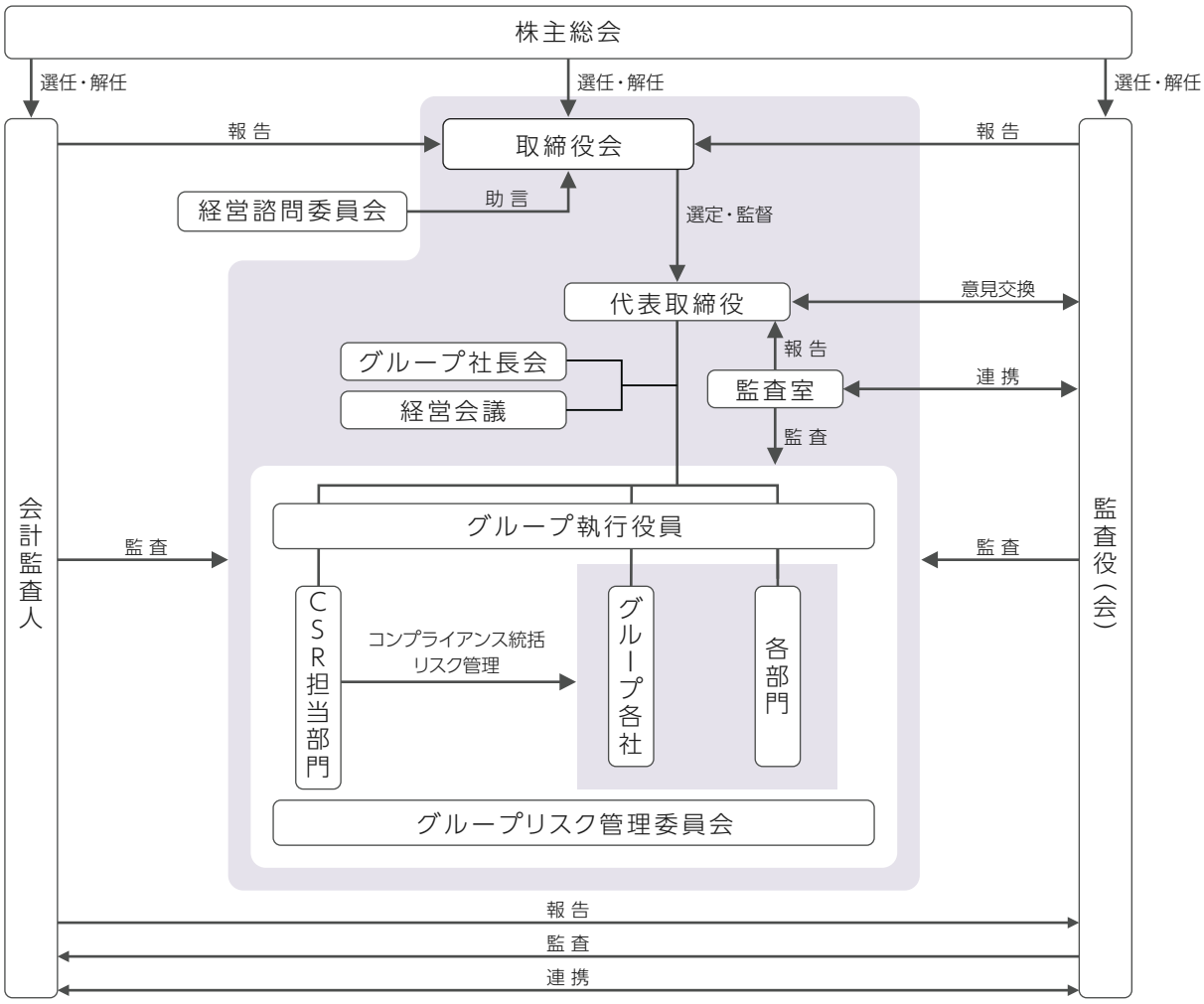
コーポレート･ガバナンス

コカ･コーラウエストグループのコーポレート・ガバナンスに関する基本的な考え方は、経営の効率性・透明性を向上させ、コカ･コーラウエストグループの株主価値の増大に努めることです。

当社は、監査役設置会社を採用しており、意思決定および経営監督機能と業務執行機能を分離すべく、1999年3月に取締役会の改革および執行役員制度の導入を行っています。また、2007年4月には、グループ経営の効率化と意思決定の迅速化等を図るべく、コカ･コーラウエストグループ執行役員制度の導入を行っています。なお、2006年3月に、事業年度における取締役の経営責任を明確化するとともに、経営環境の変化に迅速に対応できる機動的な経営体制を確立するため、取締役の任期を2年から1年に短縮しています。

また、2006年7月に、経営の効率性および透明性を向上させ、株主価値を増大させることを目的に、有識者から適切なアドバイスを受けるための取締役会の諮問機関として、経営諮問委員会を設置しています。当委員会の諮問事項は、取締役・監査役候補者に関する事項、役員の報酬等に関する事項ならびにグループの経営全般における重要戦略等に関する事項等としています。

コーポレート・ガバナンス体制図



内部統制への取り組み

コカ･コーラウエストグループでは、CSR経営を支える基盤として、内部統制の充実を図っています。法的な対応を含め、社内での積極的な浸透活動や業務の改善を通じて、企業価値の向上に取り組んでいます。

内部統制基本方針

コカ･コーラウエストグループでは、経営の透明性を確保し、全ての業務を適正に遂行するため「内部統制整備に関する基本方針」を策定し、これに則り、社内で内部統制の整備を進めています。

内部統制システムに関する基本的な考え方およびその整備状況

当該基本方針については、コカ･コーラウエストグループのホームページ（http://www.ccwest.co.jp/company/governance.php）の「コーポレートガバナンス報告書」内に記載しています。

内部統制評価の様子

内部統制報告制度（J-SOX）への対応

コカ･コーラウエストグループでは、「内部統制報告制度（J-SOX）」に対応し、2007年から専任チームを結成して内部統制への取り組みを強化してきました。社内の主な業務プロセスの文書化や業務運用状況の評価など、財務報告の信頼性向上に向けた活動を推進しています。

コカ･コーラウエストグループにとって制度対応初年度となる2009年は、法律上の手順に則り監査法人の適正評価を得て「グループの内部統制は有効である」とする内部統制報告書を金融庁に提出しました。2010年の内部統制報告書については、2011年に有価証券報告書とともに内部統制報告書を金融庁に提出します。

今後も内部統制の整備と運用の仕組みの改善を積み重ね、財務報告の信頼性、経営の透明性、企業価値のさらなる向上に向けて取り組んでいきます。

内部統制報告書 第52期

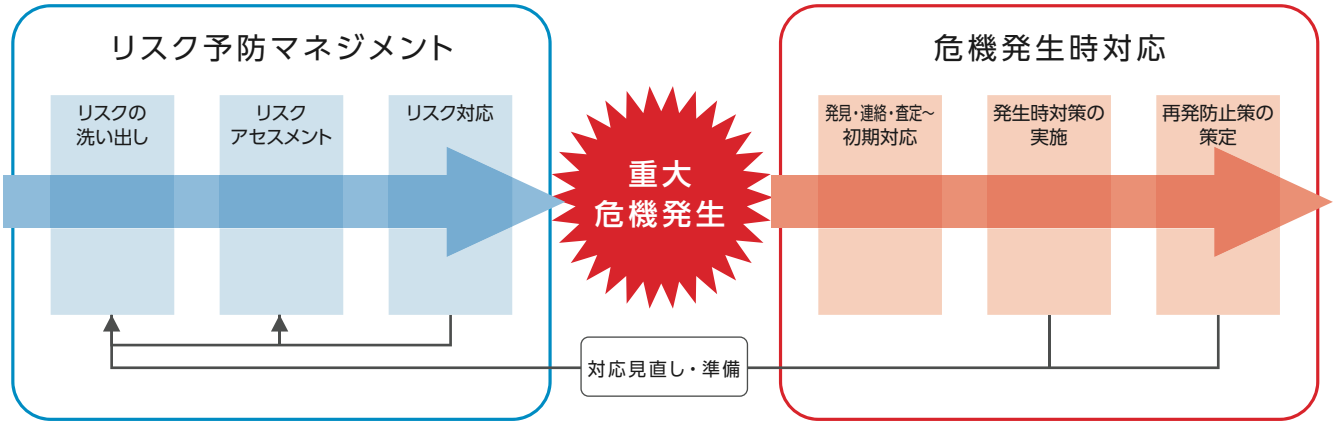
※J-SOX：2008年に導入された「金融商品取引法」のこと。
会計不祥事やコンプライアンスの欠如等の防止を目的とした内部統制に関する法律で、全ての上場企業に適用されます。

重点項目⑤

リスク管理

コカ･コーラウエストグループでは、会社の抱えるさまざまなリスクに対して
発生を予防するとともに、万一発生した場合に、被害を最小化するための行動が
迅速・的確に行える会社を目指しています。

リスクマネジメント全体図



リスク予防マネジメント

コカ･コーラウエストグループでは、コカ･コーラウエストの各部門およびグループ各社ごとに、リスクの洗い出しを行い、活動計画の策定・リスク軽減活動を実施し、リスクの顕在化の未然防止に取り組んでいます。

リスク予防マネジメント 全体フロー図

活動事例　大規模災害時の社員安否確認の仕組み構築

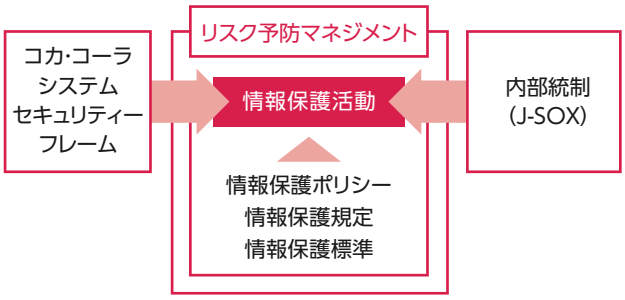
リスクの洗い出しの結果、大規模な災害が発生した場合に社員一人ひとりの安否を確認する方法がなかったため、安否確認の仕組みを構築しました。併せて、災害時対応カードを作成し、仕組みの説明・連絡方法・災害時の基本行動等の周知を図っています。

災害時対応カード

情報保護活動について

情報保護活動の位置づけ

コカ･コーラウエストグループでは、リスク予防マネジメント活動の一環として情報保護活動に取り組んでいます。
また、取り組むにあたって、情報保護に関するポリシーや規定、標準類を整備し、内部統制（J-SOX）やコカ･コーラシステムのセキュリティーフレームとの整合性を図り推進しています。



情報保護についての取り組み

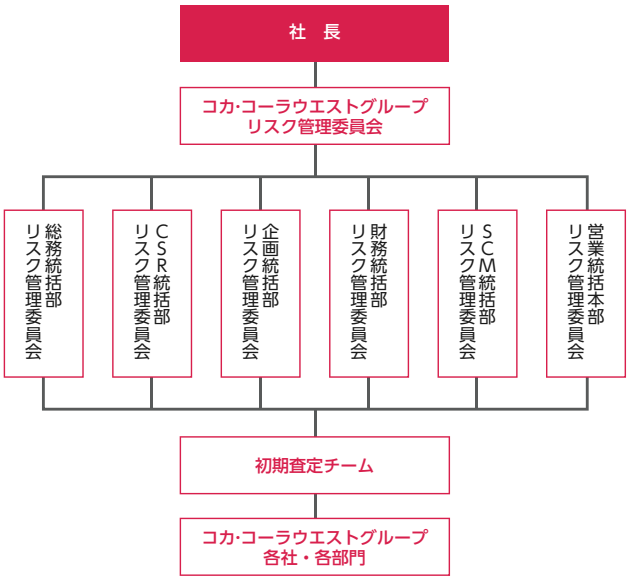
個人情報を含む情報資産を、さまざまな脅威から保護し、安全な情報活用を徹底するために社内手帳や社内イントラネット等を活用した教育・啓発を実施しています。
また、その後の理解度確認を行い、グループ社員への浸透を図っています。

危機発生時の取り組み

コカ･コーラウエストグループでは、危機が発生した場合に、社会や経営への影響を最小限にとどめるため、「コカ･コーラウエストグループ危機発生時体制」をグループ組織運営体制に沿って構築するとともにどのように対応すべきかをまとめた「危機発生時対応マニュアル」を作成しています。
また、講習会や部門長以上への危機発生時シミュレーション訓練、製造工場での実際の事故を想定した訓練を実施し、危機発生時対応力の向上と意識啓発を図っています。

製造工場での訓練

コカ･コーラウエストグループ危機発生時体制図



重点項目⑥

環境推進

環境マネジメント

環境経営の推進に向けて環境マネジメントシステムを運用し、
環境負荷の削減、関係法令の順守等、継続的な改善に取り組んでいます。

人も環境も、さわやかに。

私たちの環境基本理念

コカ･コーラウエストグループは、
地球環境保全を最重要課題のひとつと認識し、
飲料を通じて、ステークホルダーにハッピーで
いきいきとしたライフスタイルを提供する企業として、
持続可能な社会の発展に貢献します。
社員一人ひとりと会社が一体となった取り組みにより、
環境保全活動を継続的に推進します。

私たちの行動指針

1. 事業活動のさまざまな場面で環境に配慮し、
環境リスクへの予防手段を優先します。

2. 日常業務の中で、環境負荷削減を目標とする
システムを運用し、その継続的な改善に努めます。

3. 水の有効活用、エネルギー使用の効率化、
廃棄物の削減・リサイクルを推進します。

4. 適用される法規制、協定、必要に応じて設定する
自主基準等を順守します。

5 地域社会に貢献し、
次世代に成果の残る活動を展開します。

6. 社員への環境教育を実施し、
環境保全意識の向上に取り組みます。

7. ステークホルダーとのコミュニケーションを推進し、
良き企業市民として行動します。

改訂：2011 年 1 月 1 日

環境マネジメントシステム

コカ･コーラウエストグループでは、環境管理の国際規格であるISO14001の認証取得を継続しています。2009年には販売機能を担うグループ会社で統合認証を取得し、環境マネジメントシステムの効果的な運用を推進しています。
2010年は、新たにコカ･コーラウエスト販売機器サービス㈱および西日本ビバレッジ㈱、コカ･コーラウエストリテールサービス㈱が統合認証の範囲に加わりました。
今後も、マネジメントシステムの範囲を広げ、継続的な改善を推進します。

ISO14001 マネジメントシステム登録証・付属書

ISO14001認証範囲一覧

事務所名	認証取得年月
コカ･コーラウエスト㈱ ウエストベンディング㈱ 西日本ビバレッジ㈱※ コカ･コーラウエストリテールサービス㈱※ ㈱ネスコ ㈱カディアック コカ･コーラウエスト販売機器サービス㈱※ コカ･コーラウエストサービス㈱	2009年12月 統合認証取得 ※2010年12月に 認証範囲に統合・ 追加
コカ･コーラウエストロジスティクス㈱	2008年 1月
コカ･コーラウエストプロダクツ㈱ 京都工場 明石工場 本郷工場 鳥栖工場 基山工場	 2000年 1月 2008年11月 1999年 6月 1999年11月 1999年11月
コカ･コーラウエスト大山プロダクツ㈱ 大山工場	 2007年12月
中国ピアノ運送㈱	2009年 1月

内部監査・外部審査

2010年は、内部監査員資格保有者を対象とするレベルアップ研修を経て、18部門（55拠点）に対する内部監査を実施しました。監査の結果、浄化槽法の順守評価の際に現場担当者が確認すべき内容の再整理等、コンプライアンスに関する改善事項を含む84件の指摘がありました。それらの指摘内容は、全社的な是正のために全部門に水平展開されています。なお、内部監査、外部審査の結果、行政からの指導等を伴うような重要な環境法規制違反はありませんでした。

外部審査の様子

社内環境教育

グループ社員全員がそれぞれの業務における環境への影響を理解し、主体的に改善活動に取り組めるよう、環境法令等に関する研修や社内報・イントラネット上での情報共有を行っています。

また、社員の環境意識を高めることを目的に、毎月各事業所周辺の清掃活動を実施しています。2010年はのべ18千名のグループ社員が参加しました。

ISO14001 部門環境リーダー研修

事業所周辺の清掃活動

2010年の環境目標・実績・2011年の目標

コカ・コーラウエストグループでは環境の主要取り組みテーマにおける目標とその達成状況を把握することにより、計画的かつ継続的に環境負荷の低減を推進しています。

テーマ	取り組み内容	2010 年目標	2010 年実績	自己評価	2011 年目標	関連ページ
温室効果ガス（CO_2）排出量の削減	生産・輸送・自動販売機・オフィス部門での削減	2004 年比 18% 削減	2004 年比 22% 削減	達成	2004 年比 23% 削減	p.39-40
安全・安心な廃棄物リサイクルシステムの構築	空容器の自社リサイクル推進	リサイクル量 5,000t 以上	5,071t	達成	リサイクル量 5,000t 以上	p.41
	廃棄自動販売機の自社リサイクル推進	リサイクル量 10,000 台以上	12,811 台	達成	リサイクル量 15,000 台以上	p.42
	工場廃棄物のリサイクル推進	リサイクル率 99%以上	99.995%	達成	リサイクル率 99%以上	p.42
水資源の保全および有効活用の推進	「さわやか自然の森」森林保全活動実施	参加人数 470 人	312 人	未達	参加人数 360 人	p.13
	ウォーター・スチュワードシップ（水資源保護）活動の推進	大山工場の源水保護計画策定	策定・承認完了	達成	京都・明石工場の源水保護計画策定	p.43
地域への環境教育支援	植林活動支援開催	参加人数 280 人	241 人	未達	参加人数 250 人	p.14
	夏休み環境体験学習開催	参加人数 30 人	30 人	達成	参加人数 60 人	p.14

事業活動の流れと環境負荷

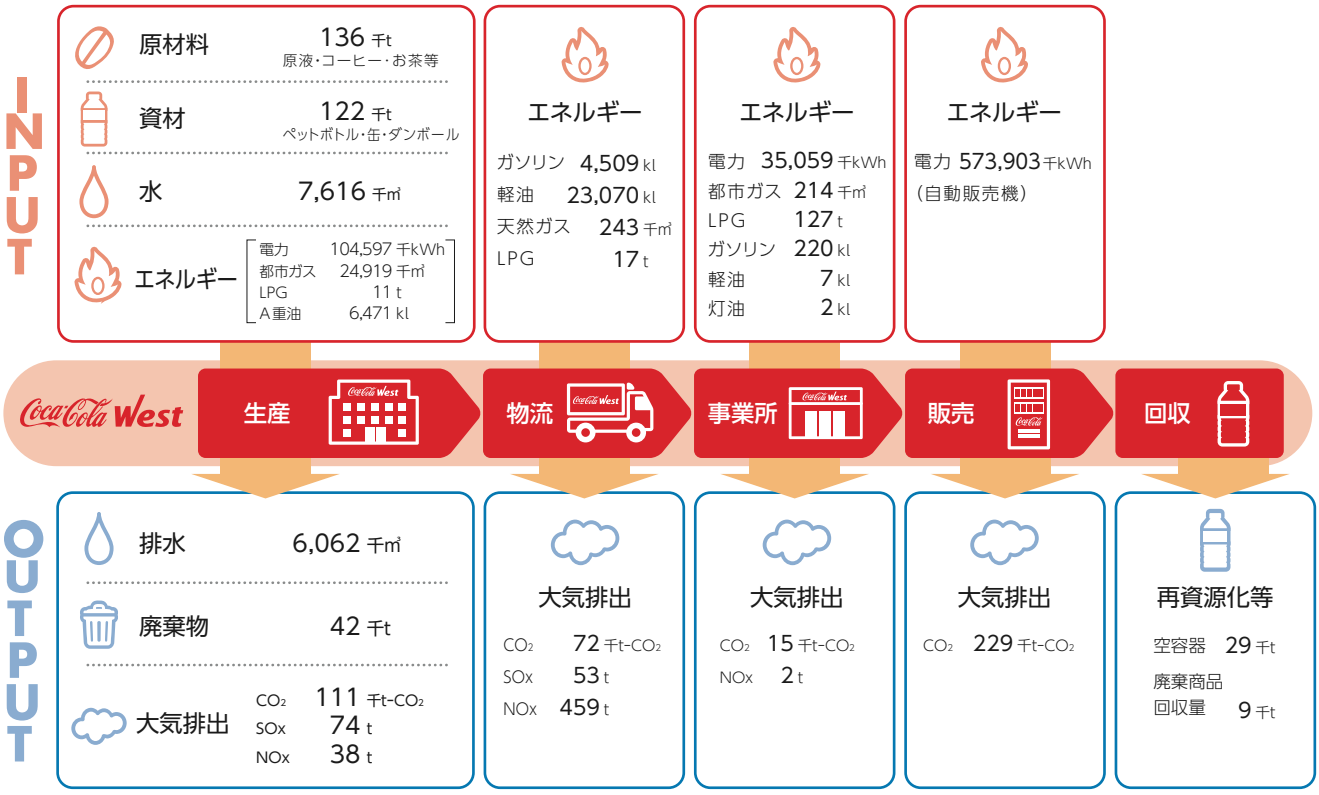
生産からリサイクルまで、商品のライフサイクルを通じて発生する環境負荷を把握し、
事業活動全体での環境負荷の低減に努めています。

事業活動に伴う環境負荷量について

2010年の事業活動に伴う環境負荷量は以下の通りでした。マテリアルフローの中では自動販売機の使用によるCO_2排出量が最も多く、全体の約5割を占めています。生産部門のCO_2排出量は全体の約3割でした。

生産に伴う水使用量は約8百万㎥、排水量は約6百万㎥となり、廃棄物排出量は42千tでした。販売後に回収した空容器の再資源化量は29千tでした。

マテリアルフロー（2010年）



●化学物質については、「特定化学物質の環境への排出量の把握および管理の改善の促進に関する法律」（PRTR法）の対象物質の届出要件に該当するものはありませんでした。

環境負荷指標算定基準

	環境負荷指標		単位	算定方法
インプット	原材料投入量		千t	生産活動に伴う原液・コーヒー・お茶等の年間投入量
	資材投入量		千t	生産活動に伴う梱包資材の年間投入量
	取水量		千㎥	生産活動に伴う上水・井水・工業用水年間使用量
アウトプット	温室効果ガス（CO_2）排出量	燃料	千t-CO_2	各燃料年間使用量 × CO_2 排出係数※ 主な燃料のCO_2排出係数 ●A重油：2.710t-CO_2/kl ●ガソリン：2.322t-CO_2/kl ●軽　油：2.624t-CO_2/kl ●都市ガス：2.108t-CO_2/千㎥
		電力	千t-CO_2	年間購入電力量 × CO_2排出係数※ CO_2排出係数：2004年の地域の電力会社別係数（ただし、中国エリアについては0.555kg-CO_2/kWh）
	廃棄物発生量		千t	生産活動に伴う廃棄物（有価物含む）
	空容器回収量		千t	実際の回収量から残渣を除いて再資源化された量

※燃料および電力のCO_2排出係数は、自らの削減努力を適切に表現できるよう、コカ・コーラウエストグループ温室効果ガス削減計画策定時に採用した係数（基本的に2004年の係数）をすべての年に適用しています。

環境会計

コカ・コーラウエストグループの環境関連活動における投資額・費用額ならびに経済効果を把握し、
効率的な環境経営の推進につなげています。

環境会計について

コカ・コーラウエストグループでは環境会計を「環境マネジメント」「地球温暖化対策」「廃棄物管理・リサイクル」「水資源の管理」「地域環境推進活動」の5つの活動に区分し、環境保全コストと経済効果を把握しています。2010年実績の集計の結果、投資額に関しては主に排水処理に関連する「水資源の管理」が7割以上、費用額に関しては空容器リサイクルを中心とする「廃棄物管理・リサイクル」が6割以上を占めており、飲料事業に携わるコカ・コーラウエストグループの環境活動の特徴が反映されています。

環境会計（2010年）

活動区分	環境保全コスト（百万円）		経済効果（百万円）	詳細データ
	投資額	費用額		
環境マネジメント	14	144	0	—
地球温暖化対策	71	174	382	p.40
廃棄物管理・リサイクル	7	2,235	383	p.42
水資源の管理	234	936	69	p.43
地域環境推進活動	0	72	0	—
合　計	**326**	**3,561**	**834**	

環境会計指標算定基準

環境会計指標	単位	算定方法
環境保全コスト	百万円	【投資額】 ●環境保全に貢献する設備の財務会計上の投資額 【費用額】 ●環境保全に貢献する設備の財務会計上の減価償却費 ●環境保全に貢献する設備の維持運営費 ●環境保全活動に関わる人件費 ●環境保全活動に関わる諸経費 複合コストについて：原則的には差額集計とするが、差額が明瞭に判別できない場合は、按分集計、簡便集計を行う
経済効果	百万円	環境保全活動に伴う収入額・節減額

地球温暖化対策

住みよい地球環境を後世に受け継いでいくため、コカ·コーラウエストグループは、
地球温暖化の原因とされる温室効果ガスの削減にグループ全社で取り組んでいます。

テーマ	取り組み内容	2010 年目標	2010 年実績	自己評価
温室効果ガス（CO_2）排出量の削減	生産・輸送・自動販売機・オフィス部門での削減	2004 年比 18% 削減	2004 年比 22% 削減	達成

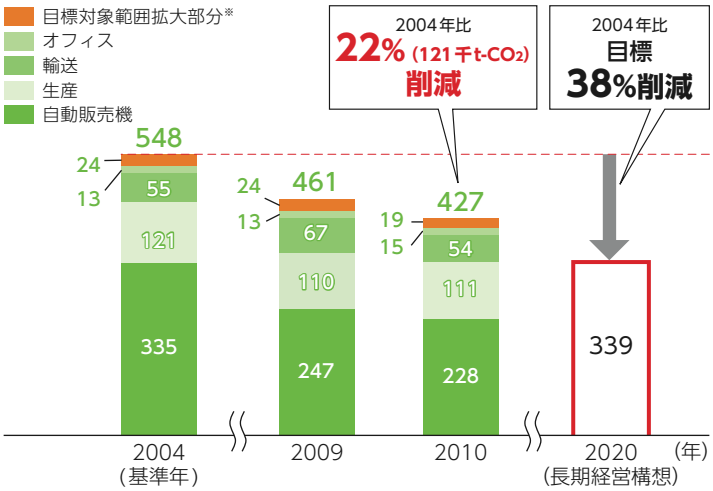
コカ·コーラウエストグループ温室効果ガス削減計画

2020年の温室効果ガス削減目標に向けて、グループ社員が一体となって活動を推進しています。
2010年のコカ·コーラウエストグループ全体の温室効果ガス排出量は、自動販売機部門、輸送部門での取り組みが貢献して、前年比7%減、基準年の2004年比では22%減の427千t-CO_2となりました。

※長期目標の策定過程で、グループ事業の現状に基づく対象範囲の見直し（拡大）を行ったことに伴い、拡大範囲に対応する排出量を基準年に遡って加算しました（棒グラフにおける■色の部分）。当該加算値には、直近年度と基準年度の販売ケース数の比率を用いて推定した値を含みます。

温室効果ガス（CO_2）排出量の実績推移

（単位：千 t-CO_2）



生産部門における取り組み

コカ·コーラウエストグループの 6 工場では、製造工程で発生する温室効果ガスの削減の取り組みとして、重油に比べ CO_2 排出の少ない天然ガス等への燃料転換や、コ・ジェネレーションシステムの導入を進めています。
2010 年の 6 工場全体の CO_2 排出量は 2009 年とほぼ同等でしたが、引き続き温室効果ガスの削減に取り組みます。

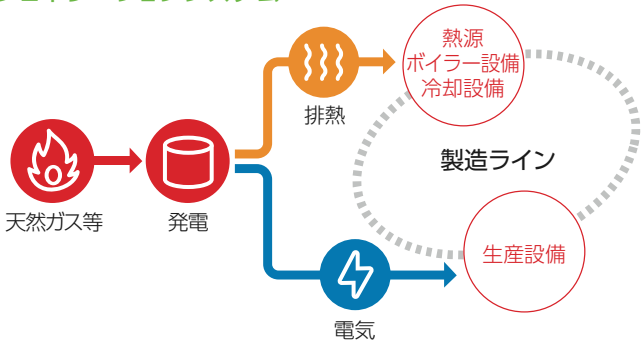
天然ガスボイラー

コ・ジェネレーションシステム

これまでの取り組み

工場名	取り組み	導入開始年
京　都	燃料転換	1998 年
明　石	燃料転換	1994 年
本　郷	コ・ジェネレーションシステム導入 燃料転換	2003 年 2009 年
鳥　栖	燃料転換 コ・ジェネレーションシステム導入	2005 年 2005 年
基　山	燃料転換	2006 年

コ・ジェネレーションシステム

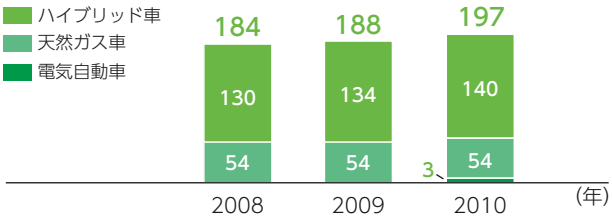


※コ・ジェネレーションシステム：ガスエンジン等で発電し、発電時の排熱で温水や蒸気を作り、電気と熱を同時に供給するシステム

輸送部門における取り組み

エコシップ・モーダルシフト実行委員会が主催する「平成 22 年度（前期）エコシップマーク認定制度」※において、コカ･コーラウエストロジスティクス㈱が荷主のコカ･コーラウエスト㈱と共に、認定事業者に選定されました。これは、海上貨物輸送へのモーダルシフトによって陸上輸送に比べ CO_2 排出量を 10% 以上削減した成果等が評価されたものです。また、3 つの事業所で電気自動車を導入する等、輸送部門における温室効果ガスの低減に努めています。

エコカー稼働台数の推移



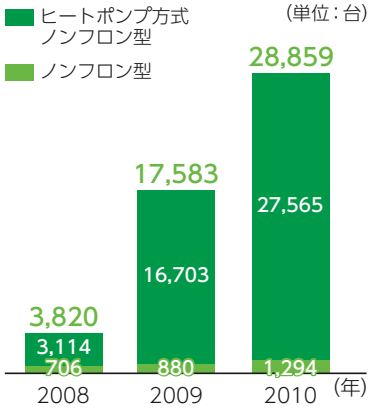
電気自動車

※エコシップマーク HP
http://www.ecoship.jp/what_ecoship.html

自動販売機部門における取り組み

温暖化への影響が CO_2 の数千倍大きいフロンガスの代わりに自然冷媒を使用し、断熱性や廃熱利用効率を高めた「ヒートポンプ方式ノンフロン型自動販売機」の導入を進め、設置場所での電力使用量を削減しています。累計導入台数は2010年末で約29千台になりました。その他LED照明やソーラーパネル搭載型も一部導入し、商品ライフサイクルでの大部分を占める自動販売機使用による温室効果ガス排出量の低減に努めています。

ノンフロン･ヒートポンプ自動販売機の設置台数推移



ソーラーパネル搭載型
自動販売機
「ecoる／ソーラー」

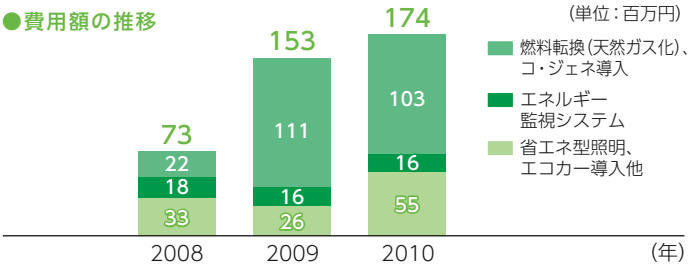
オフィス部門における取り組み

クールビズやウォームビズの推進、業務効率化による電力使用量の削減、省エネ法（エネルギーの使用の合理化に関する法律）に基づくエネルギー使用量の把握等により、エネルギー使用の効率化を推進しています。2010年は、オフィス部門でエネルギー消費量の大きいデータサーバーを集約し、CO_2 にして約3t削減することができました。

啓発ステッカーおよび温湿度計

環境会計（地球温暖化対策）

●費用額の推移



Point!

省エネルギー関連コストの多くは、過年度より推進しているボイラーの燃料転換およびコ･ジェネレーションシステムの導入に関するものです。

循環型社会の実現

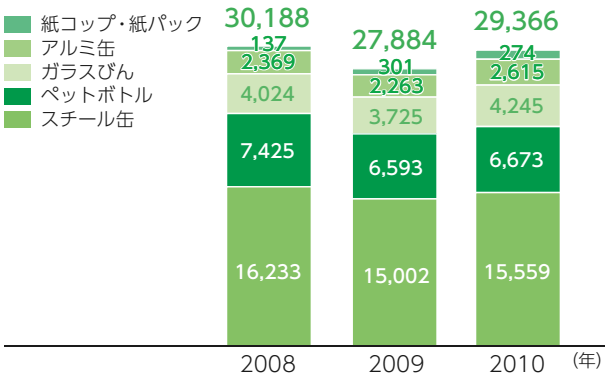
空容器や廃棄物のリサイクルを積極的に進め、資源の有効活用を促進することで、
循環型社会の実現を目指していきます。

テーマ	取り組み内容	2010 年目標	2010 年実績	自己評価
安全・安心な廃棄物リサイクルシステムの構築	空容器の自社リサイクル推進	リサイクル量 5,000t 以上	5,071t	達成
	廃棄自動販売機の自社リサイクル推進	リサイクル量 10,000 台以上	12,811 台	達成
	工場廃棄物のリサイクル推進	リサイクル率 99%以上	99.995%	達成

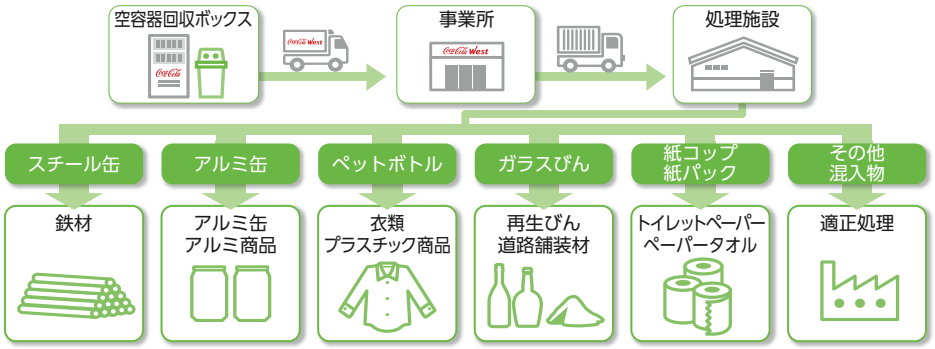
空容器リサイクル

飲み終わった後の容器にも責任を持つことが飲料メーカーとしての務めであると考え、空容器の自社リサイクルを推進しています。2003 年北九州エコタウンに稼働を開始した「北九州さわやかリサイクルセンター」(北九州市若松区響町) では、回収した空容器をスチール缶、アルミ缶、ペットボトル、ガラスびん等に分別し、効率的な再資源化に努めています。同センターでの 2010 年の再資源化量は約 5 千トンになりました。また、委託も含めたグループ全体での再資源化量は、約 29 千トンでした。

再資源化量の推移(委託分含む)



空容器リサイクルフロー図



空容器の分別作業

植物由来のプラントボトルの導入

コカ·コーラシステムでは、サトウキビから砂糖を精製する際に副産物として出る糖蜜を素材の一部(5〜30%)に使用した「プラントボトル」を、2010年より「い·ろ·は·す」(ミネラルウォーター)と「爽健美茶」に導入しました。プラントボトルは、性能や安全性等は従来のペットボトルと全く同じで、既存のペットボトルリサイクル工場で100%リサイクルが可能です。また、植物素材を使用する分、非再生資源である石油の消費を抑えることができます。今後も環境負荷のより低い商品の提供に努めます。

廃棄自動販売機リサイクル

老朽化等で廃棄された自動販売機は全て再資源化しています。2008 年に「北九州さわやかリサイクルセンター」内に建設した廃棄自動販売機リサイクルセンターでは、中国・北部九州エリアで回収された廃棄自動販売機を素材ごとに解体・分別し、鉄鋼原料等の用途に再資源化しています。また、オゾン層破壊や地球温暖化の原因にもなるフロンガスも大気放出させることなく適正に回収しています。2010 年のリサイクル実績は約 13 千台で、フロンガスの回収量は約 2.7t となりました。

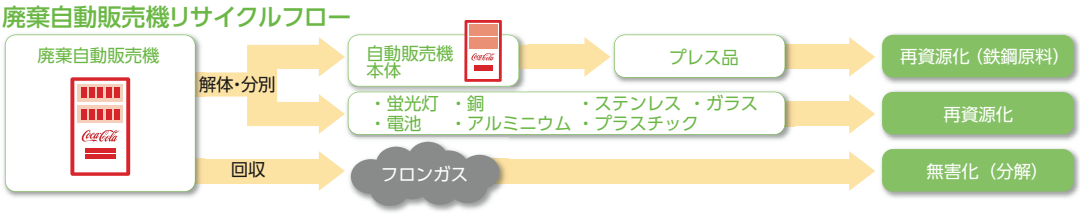
廃棄自動販売機プレス

フロンガス回収

自動販売機のリサイクル台数とフロンガス回収量

		2008年	2009年	2010年
総リサイクル数(台)		29,313	18,275	**20,747**
	自社処理数(台)	8,033	9,868	**12,811**
総フロンガス回収量(kg)		6,197	4,686	**4,396**
	自社回収量(kg)	2,238	2,711	**2,691**

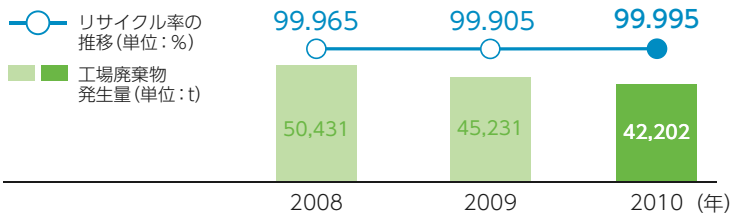
廃棄自動販売機リサイクルフロー



工場廃棄物リサイクル

生産活動に伴って発生する廃棄物の分別・リサイクルをすべての工場で推進し、継続してゼロエミッション(全廃棄物のリサイクル率99%以上)を達成しています。中でも、発生量の大部分を占めるコーヒーかす・茶かすは有機肥料や助燃材として100%の再資源化を継続しています。また、自社の品質基準に見合わなくなり市場から回収した商品については中身と容器に分け、それぞれ適正に処理・再資源化しています。

工場廃棄物発生量とリサイクル率の推移

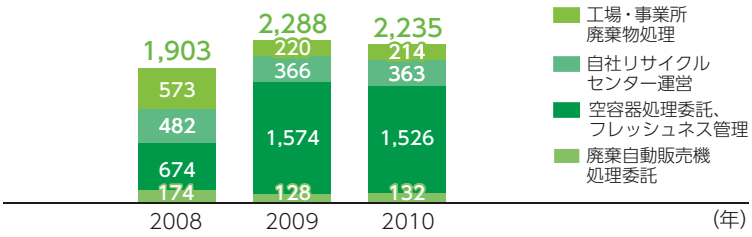


工場廃棄物発生量とリサイクル率

種類	発生量	リサイクル率	再生利用用途
コーヒーかす	25,055t	**100.00 %**	有機肥料・助燃材
茶かす	9,615t	**100.00 %**	
汚泥	4,772t	**100.00 %**	
金属類	361t	**99.79 %**	再生鋼材・アルミ缶
ガラス類	285t	**99.97 %**	再生カレット
廃プラスチック類	920t	**99.88 %**	再生プラスチック燃料
紙類	976t	**100.00 %**	ダンボール・再生紙
廃油	12t	**99.76 %**	再生油
その他	206t	**99.97 %**	路盤材等
合　計	**42,202t**	**99.995 %**	

環境会計(廃棄物管理・リサイクル)

●費用額の推移



Point!

空容器等の処理委託および自社施設でのリサイクルに関するコストが全体の約9割を占めています。

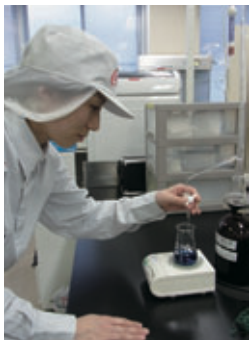
水資源の保全と有効活用

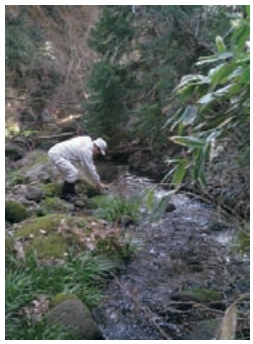
私たちの事業活動は、美しい水という自然の恩恵の上に成り立っています。
水を大量に使用する飲料メーカーの社会的責任として、水源涵養林の保全と水の有効利用を促進していきます。

テーマ	取り組み内容	2010 年目標	2010 年実績	自己評価
水資源の保全および有効活用の推進	ウォーター・スチュワードシップ（水資源保護）活動の推進	大山工場の源水保護計画策定	策定・承認完了	達成

ウォーター・スチュワードシップ（水資源保護）活動の展開

コカ・コーラシステムとして、ウォーター・スチュワードシップ（水資源保護）活動を世界で展開しています。ウォーター・スチュワードシップは、地球の共有財産である水資源を守るため、水使用量の削減・排水管理・自然界への還元を推進する活動です。世界のコカ・コーラシステムでは、商品に使用した量と同等の水を自然界に還元することを目指しています。2010 年は天然水商品を製造している大山工場にて前年に実施した源水脆弱性評価の結果を基に「源水保護計画」を策定しました。2012 年までに全工場で同計画を策定し、順次計画を実行していきます。


放流先の水質調査

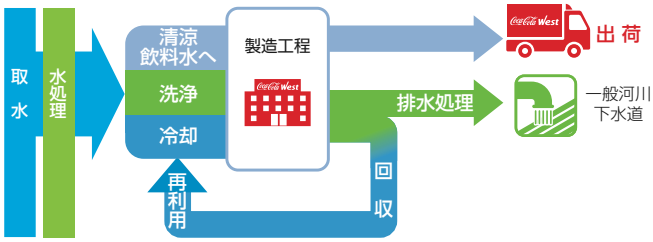

井水の水質検査

※源水脆弱性（ぜいじゃくせい）評価：工場および工場周辺の流域における水量、水質、土地利用および地質についての調査に基づく評価

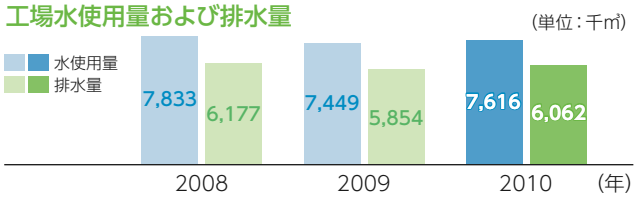
工場の用水・排水管理

製造工程における水使用の効率化を進めています。2010 年は、生産ラインで使用する機械潤滑剤を水を使用しないドライタイプへ変更することによって、水使用量の削減に努めました。また、洗浄水や冷却水として循環利用した後に、河川放流する排水については、規制値よりも厳しい自主基準値で管理しています。2010 年の水質測定結果では、自主基準値を超過したものはありませんでした。

工場の水処理フロー図

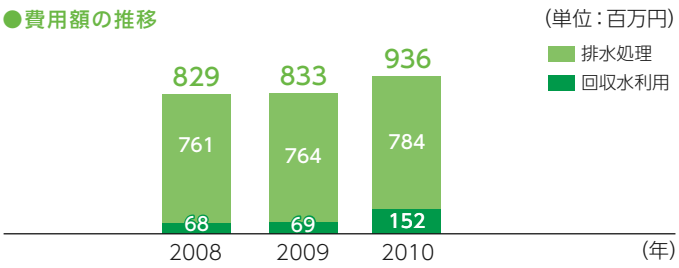


工場水使用量および排水量



環境会計（水資源の管理）

●費用額の推移



Point!

大量の水を使用する飲料メーカーとして、排水処理対策に継続的に取り組むとともに、水の効率利用の取り組みも拡充しています。

コカ・コーラウエストグループ CSRレポート2011を読んで

九州大学
ビジネススクール教授
永田 晃也 氏
（ながた あきや）

1959年生。
早稲田大学大学院経済学研究科修士課程修了。文部科学省科学技術政策研究所総括主任研究官等を経て、2010年より現職。
専門分野：イノベーション・マネジメント
主要著書：『知的財産マネジメント』
『価値創造システムとしての企業』

このレポートは、巻頭トップメッセージに続いて、長期経営構想を開示し、まず「会社の存在意義を明確にするため」に新たな企業理念を策定したことから書き起こされている。おそらく、この文言が最初の一行に含まれたことは、重要な意味を持っていると思われる。

今世紀に入ってからCSR活動は次第に我が国の産業界全体を巻き込むムーブメントを構成するようになったが、その本質に対する理解の程度には企業ごとに差異がみられるようである。CSR活動の本質的な意味は、多様なステークホルダーとの関わりの中で、企業の「存在意義」を問い直すことにあると言えるであろう。また、この観点からみる時、ある企業におけるCSR活動のクオリティは、どれほど確かに本業に立脚したものであるか、どれほど深く地域社会に根ざしたものであるかによって評価できるであろう。自社の存在意義への言及にはじまるコカ・コーラウエストグループのCSRレポート 2011 は、こうした評価軸に照らして同社の活動が極めて高いレベルにあることを伝えるものとなっている。例えば、お客さまとの重要な接点である自動販売機が地域貢献や災害対応のシステムとして活用されている点に、あるいは飲料の元である水資源を保全する日常的な取り組みの中に、筆者は地に足を付けながら社会貢献の高みを目指す姿をみることができた。

一方、本業と密接に関連したCSR活動は、さまざまな業務プロセスの中にちりばめられているため、それらをまとまりのある活動として方向づけるためのコンセプトを構想することが望まれる。そのようなコンセプトは、一人ひとりの渇きを癒すとともに、社会に潤いを提供する企業としてコカ・コーラウエストの存在感を一層高めるものに違いない。

●第三者コメントを受けて

この度、コカ・コーラウエストグループ「CSRレポート2011」にコメントをお寄せいただき、誠にありがとうございました。厚くお礼申し上げます。

私たち、コカ・コーラウエストグループは、『飲料を通じて、価値ある「商品、サービス」を提供することで、お客さまのハッピーでいきいきとしたライフスタイルと持続可能な社会の発展に貢献します』を企業理念とし、「お客さまに愛され、株主・地域社会に愛され、社員が愛する会社」を目指しています。

その中で、当社の活動について高く評価していただきましたことは、大きな喜びです。コカ・コーラウエストの存在感をさらに高めることができるようCSRの取り組みを推進してまいりたいと存じます。

これからもコカ・コーラウエストグループは、ステークホルダーの皆さまに「ハッピー」を提供していく活動を実施してまいります。

コカ・コーラウエスト㈱
CSR統括部
CSR推進部長
鈴木 弘美

工場見学のご案内

地域における学習の場、楽しみの場を創造し、お客さまとのふれあいを実現するために工場見学を実施しています。
京都工場の「マジカルエコラのファクトリーツアー」は、ツアーガイド形式により、コカ・コーラ商品が完成するための工程を楽しみながら体験することができます。
※「マジカルエコラのファクトリーツアー」は京都工場のみで実施しています。
見学内容については、工場によって異なりますので、事前に確認のうえ、ご参加ください。

マジカルエコラのファクトリーツアーのご案内

① WELCOME ZONE 〈ウェルカムゾーン〉

ウォータースクリーンがお客さまをお出迎え。コカ・コーラグッズの販売をしています。2Fモニターでは、エコラちゃんが皆さまをお出迎えしています。

② STUDY ZONE 〈スタディゾーン〉シアター

コカ・コーラ誕生の秘話から、現在皆さまに愛されているコカ・コーラの歴史を立体映像でお楽しみいただけます。

③ STUDY ZONE 〈スタディゾーン〉タイムトンネル

宇宙船内をイメージしたトンネル。その中で、コカ・コーラの歴史を学習しましょう。

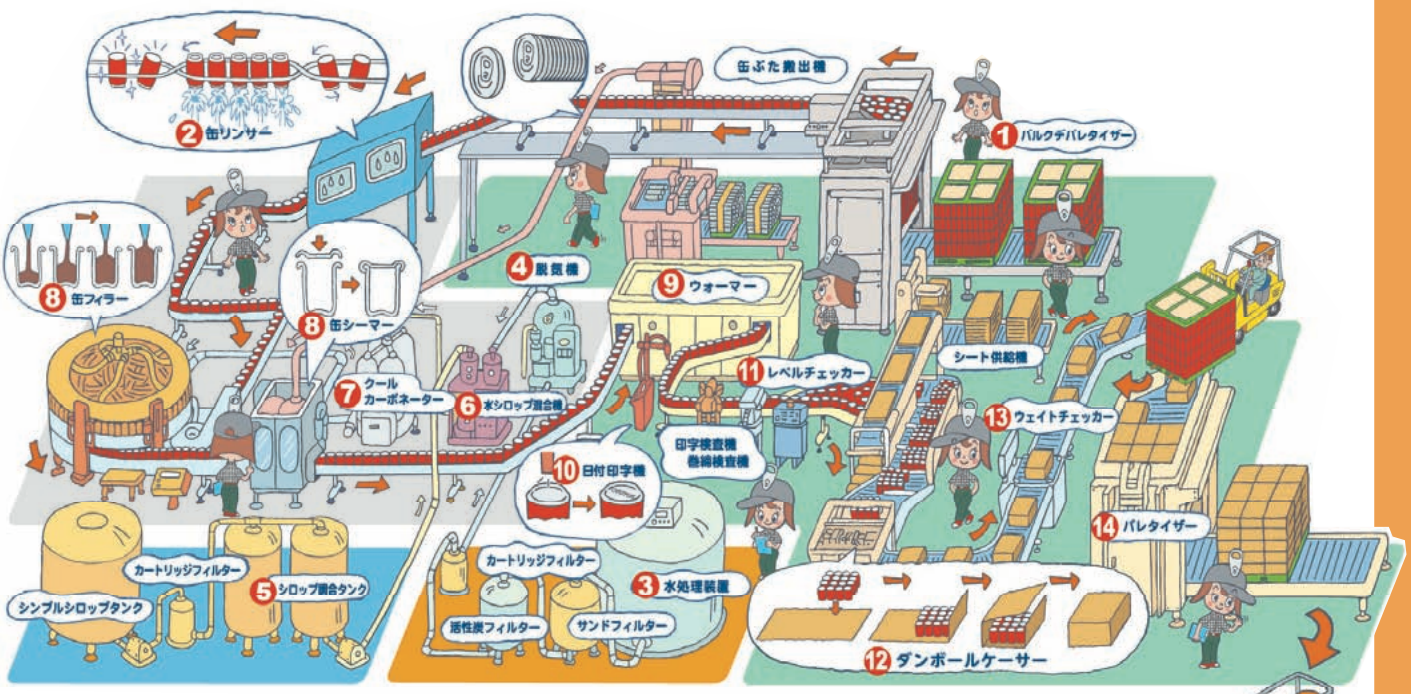
④ STUDY ZONE 〈スタディゾーン〉ファクトリービュー

大きなコカ・コーラの缶に入って製造工程を見学できます。

⑤ CHALLENGE ZONE 〈チャレンジゾーン〉

ポップなアメリカの街並みには環境の家、社会貢献の家、地域風土の家、Qooの家、コカ・コーラミニミュージアム等いろんな家があります。

缶のコカ・コーラができるまで



① バルクデパレタイザー
新しい缶がたくさん入った包みをほどきます。

② 缶リンサー
ジェットシャワーを使って、新しい缶をきれいに洗います。

③ 水処理装置
ちょっとした水のニオイやクセもキレイに取り除き、おいしいコカ・コーラをつくるのに適した水につくりかえます。

④ 脱気機
水の中に含まれる空気(酸素)を取り除きます。これで、飲み物をびん詰めしても泡立たず、フレッシュな商品ができます。

⑤シロップ調合タンク
コカ・コーラの原液に、砂糖・異性化糖溶液をまぜ合わせるのがこのタンク。コカ・コーラのシロップがどんどんつくりだされていきます。

⑥ 水シロップ混合機
④で脱気された処理水と、⑤で調合されたシロップがこの機械へと送りこまれ、決められた割合でまぜ合わされます。

⑦ クールカーボネーター
さらにここで冷却しながら、炭酸ガスを溶けこませていきます。
さあ、これでコカ・コーラができあがりました。

⑧ 缶フィラー／缶シーマー
コカ・コーラを詰めて、新しいフタをしっかりとしめます。

⑨ ウォーマー
温水で缶を温め、缶の表面に水滴がつかないようにして、ダンボール箱がぬれるのを防ぎます。

⑩ 日付印字機
バブルジェットインクで缶の底の部分に、賞味期限が印字されます。

⑪ レベルチェッカー
飲み物が決められた量まで入っているかどうか、ビームを使ってチェック。

⑫ ダンボールケーサー
つぎつぎにできあがるコカ・コーラをダンボール箱に詰めこんで…。

⑬ ウェイトチェッカー
缶の本数が正しく入っているか、ダンボール箱の重さをチェックします。

⑭ パレタイザー
商品の詰まったダンボール箱をまとめて、あとは出荷を待つばかり!!

ツアーのお問い合わせ・お申込みは

京都工場エコラ館 TEL.0774-43-5522

京都府久世郡久御山町田井新荒見128
受付　／休館日以外の 9:30 ～ 11:30　12:30～ 17:00
休館日／毎週月曜日(ただし、第一月曜日、祝日、振替休日除く)
　　年末年始、工場製造ライン、運休日および臨時休館日
入場料／無料(グッズ販売、プリクラ、ボトル自動販売機は有料)
※予約人数:2～50名様　51名様以上の場合はご相談ください。

施設見学のご案内

地域における学習の場、楽しみの場を創造し、お客さまとのふれあいを実現するために施設見学を実施しています。

①京都工場（京都府）

所在地	京都府久世郡久御山町田井新荒見128
電話	0774-43-5522
受付時間	9:30～11:30 12:30～17:00
休館日	毎週月曜日 （但し、第一月曜日、祝日・振替休日除く） 年末年始、工場製造ライン運休日および臨時休館日
所要時間	約90分
受入可能人数	定員50名

②本郷工場（広島県）

所在地	広島県三原市下北方一丁目3番1号
電話	0848-86-3600
受付時間	土・日・祝日以外の8:30～17:00
休館日	土・日・月・祝日
所要時間	約60分
受入可能人数	定員20～80名

③鳥栖工場（佐賀県）

所在地	佐賀県鳥栖市轟木町二本松1670番地2
電話	0942-82-5141
受付時間	土・日・祝日以外の8:30～17:00
休館日	土・日・月・祝日
所要時間	約60分
受入可能人数	定員80名

④基山工場（佐賀県）

所在地	佐賀県三養基郡基山町大字長野380番地16
電話	0942-92-5251
受付時間	土・日・祝日以外の8:30～17:00
休館日	土・日・月・祝日
所要時間	約60分
受入可能人数	定員80名

所在地マップ

みんなの　あしたに　ハッピーを

Coca-Cola West

FSC
www.fsc.org
ミックス
責任ある木質資源を使用した紙
FSC™ C092592

Green Power
このレポートを印刷する際の電力(1,500kWh)は、自然エネルギーでまかなわれています。

VEGETABLE OIL INK
このレポートは、植物油インキを使用しています。